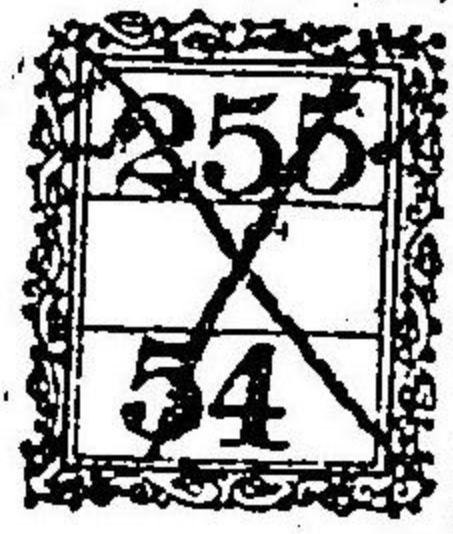


319

110

日本
國教
神代史正解

第五



319-110

319
110

特49
263

日本神代史正解第五

天兒屋命五十四代嫡傳

吉川惟足講

治

同

六十三代嫡傳

宮澤圓隆編

11 1

内容



○黒髪ノ事ナルモ、爰ハ簪ノ事デアアル。黒ハ、髪ノ縁
ヲテアル何卒念慮ヲ拂ハントテ、此ノ髪即チ簪ヲ投ゲ玉フ。

○蒲陶トナルトハ、蒲陶ハ、(エビカツラ) (ブダウ) ナドノ事デア
ル。御髪ノカツラヲ投ゲ玉フニ(エビヅル)ト云フ蔓ノアル物ニ
ナルハ、心ノ結ボウル意味デアアル。此ノ念ヲ拂ハント思召シテ
髪ヲ投ゲ玉フニ、其ノ念慮愈々エビヅルノ一物ト成リ、コレヲ
醜女ガ噉ミテ倍々念慮力ヲ得ルニ至ル。彼レヲ以テ拂ハント
スレバ、其ノ念慮力ヲ得テ又追フテ留ムルノデアアル。

○湯津ノ爪櫛トハ、前ニモ出ヅル如ク、櫛ハ結ボウレヲ解ク物故ニ、御心ノ結ボウレヲ解ク縁ノ事相ニコレヲ御投ゲナサレタノデアアル。

○筍トナルトハ、筍ハ、竹ノ子デアアル。竹ハ一年ノ内ニ其ノ丈ケヲ定ムルモノ故、竹ハ、(タケイ)ト云フ訓デアアル。念慮倍々増長スル事ヲ云フ。然レバ愈々念慮ガ力ヲ得テ、猶ホ噉ミ了リテ又追フノデアアル。偕コレマデハ、念慮ノ段々心ニ浮ム處ヨリ事ニ御設ケナサレテ、斯クノ如クナサルレ尺、其ノ御投ゲナサルル物ガ愈々念慮ノ力ト成ツテ、後ニハ、伊弉册尊ノ、自ラ追フテ陰闇ノ地ヘ引キ入レント成サルルニ至リシ、爰ハ神書ノ文法デ、傳無ウシテ事一通リニ見テハ、濟ミ難キ處デアアル。則チ事。理ヲ。籠。メ。テ。説。カ。ル。ル。所。畢竟御心ノ迷ヒノ念慮ヲ、譬ヘテ以テ御

説キナサレタノデアアル。今日ノ上カラ篤ト受用スレバ、今日ニ皆有ル事デ、大イニ其ノ情ニ沉メバ、事ヲ投ゲル程愈々ソレガ念慮ノ種ト成リテ増長スルモノゾトノ御教ヘデアアル。

再釋。伊弉諾尊劔ヲ後ヘ手ニトアル事、コレモ今日人事ノ如クニ書カセラレタノデ、相對スルト感じテ陰闇ノ處ニ陷井リ玉フ故ニ『後ヘ手ニフリツツ』トアルノデアアル。爰ノ劔ハ、知劔ノ劔デアアル。劔ノ徳ハ物ヲ切斷スルニアレバ、陰闇ノ念慮ヲ斷チテ陽善ニ至ラント思召ス處デアアル。形チヲ脱セヌ間ハ、神聖ト雖尺、此ノ念無キ事能ハズ。譬ヘバ寒暑ヲ思フモ、形チノ念慮デアアル。爰ニ學問ノ入ル所。偕天理ハ、陽明ノ處。形チヲ思フハ、陰闇デアアル。▲黒キ鬘ハ、黒髮ノ事。髮ハ黒ク結ボウレタルモノデ、アヤメモ分カヌモノデアアル。彼ノ結ボウ

レタル念慮ヲ、知劔ノ劔モテ分ケ分ケ玉フ處ガ即鬘ヲ投ゲ
 玉フト申スモノデアル。コレガ和書ノ文法デアル。▲蒲陶ト
 ナル。トハ、蒲陶ハ、(ブダウ)ノ事ニテ、コレハ藪ト云ツテ、結ボ
 ウレタル物デアル。此ノ藪ト云フハ、(屋ヲ帶ブ)ト申ス訓デ、家
 チ堅ク作りタル如クニ、彼レヨリ此レ、此レヨリ彼レトカラ
 ミ纏フテ、矢モ通ラヌ程ニカラミツキタル物故ニ、結ボウレ
 タル髮ニ譬ヘラレタノデアル。則チ地上ノ草木ト、人ノ形チ
 ニアル毛髮ト一ツニ説カレシモノニテ、地上ノ蒲陶ハ、人身
 ニ生エタル毛髮、人身ノ毛髮ハ、地上ニ生エタル蒲陶ト一ツ
 デアル。ソコデ蒲陶ニハ實ガ成ルカラ、醜女ガ噉ミ下アリ。偕
 此ノ念慮ヲ投ゲント思召スモ、未ダ醜女ノ念慮デアル。陰闇
 ノ念慮ヲ厭ハセラルルマデハ執行体デアツテ、無心ニ歸ル

處ガ徳成就ノ場デアル。無心ニ歸ルノ場ハ甚ダ高キ處デ、ヒ
 タト醜女ハ遠ク成リ、陽善ニ歸ラセラルル處デアル。▲湯ハ、
 清淨ニ取ル。湯ト云フモノハ、水ヲシテ陽火ヲ以テ温メテ陰
 陽等分トシタモノデ、則チ清淨デアル。人モ片寄ラズ陰陽等
 分ナル處ハ、聖デアル。惡人ハ天理ヲナミシ、形チ計リニ依ル
 故ニ、惡人デアル。▲津ハ、助語。▲爪櫛ハ、爪ノ形リニ似タ
 ルヲ以テ云フ。此ノ櫛ハ、前ノ鬘ニ對シテ云フ處デアル。ヒタ
 ト陽善ニ歸ラセラルル故、鬘ガ何程結ボウレタリト雖、爪櫛
 チ以テ解カレヌト云フ事ナシ。學者理ヲ究ムルマデハ、爪櫛
 ナイダクマデノ處デアル。是非ヲ忘レテ天理ノ儘成ル處ガ、
 徳ノ場デアル。▲筍ハ、竹ノ子デアル。竹ノ子ハ、枝ナクシテ、
 スツト伸ビタモノデアル。櫛ハ、(クラシ)ノ訓。隱微ニシテ見え

ザレバ、(クラシト云フモノデアル。人ノ本心ハ見エズ、見エヌケレバ、事ハホドク。コレ一理ニシテ而モ見エザル處ハ、(クラシ)デアル。一理ノ櫛ノ一ツニシテ二ツナキモノヲ、枝ナイ竹ノ子ニナツタト説カレシモノデアル。▲拔キ噉ムトハ、未ダ投グルハ念慮故、拔キ噉ムトアリ。▲追フトハ、念慮ノ追フ處ヲ説カルルノデアル。神聖ハ、氣質ガ天理ノ命ニ從フガ故ニ、神聖デアル。即チ人道デアル。▲亦自ラ追ヒイデマストハ、爰ヲ古來讀ミ來ル處デハ、ヒタト念慮ノ追ヒ來ルト説キ來ツテ居ルノデアル。時ニ自ラ追フト云ヘバ、念慮ガ増ス様ニ聞ユル。陽善ニ歸ラセラルルニ、増スト云フテハ聞エズ。古來ノ説ハ、陰闇ノ追ヒ來ル様ニ讀ミ來ルガ、左右デナシ。善惡ト、天理ト氣質ト、陰陽ト見ルノデアル。善ト天ト陽トハ、

伊弉諾尊ニ屬シ、惡ト氣質ト陰トハ、伊弉册尊ニ屬ス。人事ノ日用、善ト惡トノ二ツノ間胸中ニ争フ。譬ヘバ陽ガ物ヲ生育セントスレバ、陰ハコレヲ縊リ殺サントスルガ如シ。受用ニ取りテ、何ゾ業モ善イ事ヲ勤ムル様ニスルガヨシ。徒ラニ居レバ、惡ニ入ル。甚ダ受用ニ切ナル處デアル。今日人事ノ事皆陰陽相争フ。學者默シテ悟ルベシ。日本ノ書ハ、人事ヲ有リノ儘ニ書イタモノデアル。源氏物語ヤ伊勢物語ヲメタトシタ書ノ様ニ云ヒ居レド、決シテ左右デナシ。人事ノ上ニアル人情ヲ其ノ儘書イタモノデ、能ク人情ヲ盡シタ書ナレバ、メタトハセヌ事ゾ。猶更此ノ書ハ、人情ノ常ニ行ハルル處ヲ其ノ儘ニ書カセラレタノデアル。コレ神書ノウヅ高キ處デアル。則チ更追フトアツテ、形チ有ル間ハ、此ノ念慮ノ無キ事能

ハズ。造化ノ神ニ歸ラヌ間ハ、寒氣ハツメタシ。聖人ト雖モ、形
チ有ル人、何ゾ常人ニ違ハンヤ。爰チ説イタモノデアアル。去ル
程ニ神聖ト雖モ、形チ有ル人ニ陰闇ノ念慮無キ事能ハズ。ソ
コチ「自ラ追フ」ト説カレタノデアアル。然レモ神明ナルガ故ニ、
ヒタト陽善ニ力ヲ入レテ平坂ニ至ラセ玉ヒタノデアアル。其
ノ初メ、伊弉諾尊何ガ故ニ陰闇ニ入ラセラレシゾト云ヘ
バ、死別ノ故デアアル。コレハ性感ノ儘ニシテ、惑ヒニハアラズ。
譬ヘバ寒氣ニ遇フテツメタイト思フハ、性感デアアル。然ルニ
炭チマゲテトリテ防グハ、人欲ニシテ、爰ニ力ヲ用フルガ、受
用デアアル。借初メニ死別チ悲シミ玉フハ、性感ナレモ、悲シミ
ニ依リテ陽明チ壅塞セラレテ闇昏トナラセラレタノデア
ル。畢竟歎クベキチ歎クハ、當然デアアル。過グル處ニ力ヲ用フ

ルノミ。然ラバ力ヲ用フレバ八人が無クナルカト云ヘバ、死
シテ造化ノ神ニ歸ラヌ内ハ、八人ハ依然トシテ居ル。生キテ
居ル内ハ、陰闇ノ念慮ハ止マヌノデアアル。爰モ御夫婦ニ於テ
死別チ慕ヒ玉フノ情一度ニバツタリト止ムベキ様ナシ。畢
竟ハ形チニツク念慮チ説カレ玉ヒタノデアアル。前ニ「カリモ
ガリ」ノ處ヘ御越シ成サレテ惑ヒニ入ラセラレタハ、穢レト
スル事デアアル。去ル程ニ「八人ガ追フ」トアリ。爰ノ「自ラ追フ」ト
アルハ、夫トシテ婦ノ別レチ思召スハ情用ニシテ、性感ノ儘
デアアルト云フ。其ノ處チ説カレタモノデ、云ハバ、伊弉册尊
チ忘レサセラレヌガ「自ラ追フ」ト云フモノニテ、性感ノ儘デ
アル。爰ニ道ガアル。惑ヒニ入ラズシテ而モ忘レヌト云フハ、
高キ場デアアル。

是時伊弉諾尊已到泉津平坂。一云伊弉諾尊乃向大樹放屍。此即化成巨川泉津日狹女將渡其水之間伊弉諾尊已至泉津平坂。

○泉津平坂ハ、口傳一應ハ、泉津ハ、陰闇平坂ハ、平ラニシテ、平等ノ意坂ハ、登レバ下ル。登ルハ陽下ルハ陰デアアル。陰ニモアラズ、陽ニモアラズ、中体ノ地ヲ指ス。其ノ中体ニ至リ玉フ處ヲ「泉津平坂」下サレタノデアアル。彼レヲ拂ヒ、此レヲ拂ハントスルハ、念慮デアアル。拂フ所無ク、拂ハン所思召サズ、中体本然ノ御心ヲ、斯クノ如ク御教ヘナサレタノデアアル。

○一ルニ云クトハ、伊弉諾尊ノ御悟リニ歸リ玉フ處ノ一説ヲ舉ケラレタノデアアル。

○大樹ニ向ヒテ放屍トハ、大樹ニハ別ニ意味ナシ。放屍ハ、小便デアアル。伊弉諾尊念慮ヲ以テ彼レ此レトナサルレ所、念慮去ラズ。其ノ念慮ノ追ハセラルル折節道ノ邊リニ大樹アリタレバ、此處ニテ小便ヲナサレ玉フ。小便ハ、心ニ惱マサル處アレバ、通ジカヌルモノデアアル。

○此レ即チ巨川トナルトハ、江河デアアル。天地ノ江河ノ流レテ止マザルモ、人ノ小便ノ通ジテ其ノ体ノ全ウ立ツモ、同ジ理リデアアル。爰ハ、天理一枚ノ本分ノ悟リニ立チ歸ル處デ、天地一枚ニ立チ歸リ玉フ處ヲ、斯クノ如クニ説カレ玉ヒタノデアアル。

○泉津日狹女其ノ水ヲ渡ラントスル間ニ、伊弉諾尊已ニ泉津平坂ニ至リマシヌトハ、日狹女ハ、醜女ト同義デアアル。一説ニハ、日狹女所申スノデアアル。伊弉諾尊天理ニ立チ歸リ、是ニ於

テ拂フ凡ナク本分ニ立チ歸ル處ヨリ、御愛着モ絶エ、陰闇へ入
 リ玉ハントスル念慮ノ、自然ト遠ク成リ玉フ處ヲ、斯クノ如ク
 『平坂ニ至リマシヌ』ト説カレ玉ヒタノデアル。

又曰ク、一ルニ云クトハ、爰ハ解シニクキ故、或説ヲ舉ゲ
 ラレタノデアル。其ノ歸リ玉フ道スガラニ大木ガアリシ。此
 ノ處事ニ取リテハ、『カリモガリ』ノ場ヨリ内裏へ歸ラセラル
 ル所、受用ニ取リテハ、陰闇ノ地ヨリ陽善ニ歸ラセラルル間
 デアル。其ノユバリ大川ト成ル故、陰闇ノ念慮追ヒ來ルト雖
 凡、八人ガ追ヒツク事ナラヌノデアル。偕ユバリスルニハ、何
 ゴ溝カ、其ノ外據リ處ガナクテハ、シニクキモノデアル。則チ
 大樹アリシ故、御迷ヒチ解ク事相ニ、其處ニテナサレ玉ヘバ、
 心氣スガシウ成リ玉フ。盖シ木ハ氣ト同訓同意デアル。

人ノ飲食ハ、精汁糟粕ト成リ、コレヲ以テ形チヲ養ヒ、程能キ
 時開イテ一身立ツ。身健全ナル時ハ、大小便節ニ叶フ。病身ナ
 レバ然ラズ。爰ハ体氣等分ニ坐マス故ニ、小便節ニ叶ハセラ
 ルルノデ、陰闇ニ陷井ラセラルル時ハ、御病氣ト等シクアラ
 セラルルノデアル。スベテ病ハ、陰ガ勝チテ陽ガ負ケル故ニ
 起ル。去ル程ニ元氣ノ正シキ時ハ、陰ニ犯サレズ。元氣正シキ
 ハ、陽善ニ至ラセラルル故デアル。▲巨川トナルトハ、一滴
 ノ水モ江河ノ水モ同ジ事ニテ、受用ニ取リ、爰ハ、陰闇ノタメ
 ニ犯サレヌ様ニトノ御教ヘデアル。此ノ故ニ、此ノ説ヲ舉ケ
 ラレ玉フ。謂ハユル浩然ノ氣ヲ養フト云フモ、爰デアル。陽ヲ
 養フガ第一ノ義ゾ。道モ、陽ヲ育ツルト、陰ガ追ヒツク事ナラ
 ヌノデアル。▲泉津日狹女ハ、醜女ノ別名デアル。日狹女ト

ハ、日ノセマイト云フ意、日ヲセマウスレバ、コレ陰闇デア
爰デ油斷スルト、日狹女ガ渡ルノデアアル。慎メバ、日狹女ガ渡
ル事ナラズ、常ニ人ノ身ノ上ニ、此ノ日狹女ガ付キテ道ヲ妨
ゲル程ニ、ヨクヨク慎ムベキ事デアアル。

故便以千人所引磐石塞其坂路與伊弉册
尊相向而立遂建絶妻之誓。

○千引キノ磐トハ、千人ニテ引クベキ程ノ岩ニテ、至ツテ重
キ岩デアアル。歌ニモ「千引キノ岩」ト詠ミテアリ、中体本分ニ立チ
歸リ、是ニ於テ二度陰闇へ入ルマジト有ル念ヲ、千引キノ磐ヲ
以テ塞グ如ク、御塞ギナサルルトノ義デアアル。

○絶妻トハ、(コトコト)デアアル。陰陽相對シテ各々位スル處ヲ
云フ、則チ陰ハ陰ノ事ニ亘リ、陽ハ陽ノ事ニ亘ル處デアアル。文字

モ「妻ヲ絶ツ、誓ヒテ建ツ」トアツテ、二度 伊弉册尊崩御ノ處へ
至ル念ニハ赴クマジト、岩ヲ以テ塞グ如ク、急度誓ヒテ御立テ
ナサレシ事ヲ、斯クハ説カレ玉ヒタノデアアル。

又曰ク、故レ便チトハ、兎角日狹女ガ水ヲ渡ラントスル
程ニ、ドコゾデ追ヒツクデアラウト慎マセラルル處デアアル。
ソコデ千引キノ岩ヲ以テ、日狹女ガ來ル處ヲ塞ガセラルル
トアルノデアアル。事デハ聞エシ通り、意ニ取りテハ、金石其ノ
部ヲ同ジウスレバ、金氣ヲ存養シテ、力ヲ用井テ、坐ツテ動カ
ヌモノガ、即チ千引キノ岩デアアル。▲坂路ヲ塞イテ伊弉册尊
ト相向ヒテトハ、陽善ニ留マラセラレテ、陰闇ノ念慮ヲ去
ツテ、而モ 伊弉册尊ヲ忘レサセラレヌガ、情用ノ自然デア
ル。歎クベキヲ歎クハ、天ノ情ト等シクシテ、即チ神明ノ情用

デアル。コレヨリ天ノ情ヲ以テ説カル。▲立タシテ途ニトアル處、即チ天ノ情ヲ以テ説カルル處デアル。▲相向ヒテトハ、性情相對スル處デアル。天ハ陰陽相對シ、人ハ性情相對ス。陰陽、性情相對スル時、道ナラズト云フ事ナシ。コトトニワタリテ性情トナルモノハ、道デアル。(コトトニワタルトハ、コトコトニ渡ル)ト云フ事。爰ニ「絶妻之誓」ト云フ文字ヲ置カルルニ就キテハ、所以ガアル。去リナガラ云フニ及バザル事ハ、妻ノ夫ノト云フハ、形チニ就ク處ノ名デアル。然ラバ、伊弉諾尊ノ惑ヒニ入ラセラレタハ、形チニ就ク處ヨリ起ル事故、妻ヲ絶ツ、誓ヒチ建ツト云フ様ナ文字ヲ置カセラレタノデアル。文字ハ何レニモアレ、意ハ格別デアル。畢竟形チカラシテハ、陰闇ニ入り、天理ヨリスル時ハ、陽善デアル。

時伊弉尊曰愛也吾夫君言如此者吾當縊殺汝所治國民日將千頭。

爰ハ、天理陰陽ノ象チヲ説カレ玉ヒタノデアル。伊弉諾尊陰闇ノ地ヲ去リ、陽明ノ場ニ歸リ玉ヒテ、其ノ位ヲ得サセラルル事ヲ(コトトニワタル)ト説カルル縁ヨリ、天ノ陰ノ理、陽ノ理ヲ説カセラル。コレ神書ノ文法ニシテ、神書ハ縁ニ因テ幾度トモナク説カルルトハ、豫テ述べ置キシガ、此ノ縁ト云フニ就イテ、口傳アリ、ソレハ、心ノ縁ト詞ノ縁トデアル。爰ハ、心ノ縁ヨリ書カレシ文法デアル。

○愛ハシキ吾ガ夫ノ君トハ、陰神ノ方ヨリ陽神ヲ稱美シテノ御詞デアル。(ナセ)ハ、(セナ)云ヒテ、夫ノ事デアル。

○國ノ民トハ、人民ヲ云フ。

○縊り殺サントハ、陰ハ物ヲ滅ボシ物ヲ殺伐シ、陽ハ物ヲ生ズル理リナレバ、其ノ陰ノ物ヲ枯ス處ヨリ「汝シガ治スル國ノ民一ト日ニ千頭ベアマリヲ縊リ殺サン」ト、伊弉册尊ノ御詞ニ寄セテ、天理ノ殺伐ヲ説カレ玉ヒタノデアル。

伊弉諾尊乃報之曰愛也吾妹言如此者吾則當產日將千五百頭。

○妹ノ尊ハ、妻ノ事コレハ、陰神ニ對スル陽神ノ御詞デアル。○五百ハ、生數。陰ノ物ヲ殺伐スルヨリハ、陽ノ物ヲ生ズルガ多ク、依テ千頭ベニ對シテ「一ト日ニ千頭ベアマリ五百頭ベヲ産マン」トアリ。天理陰陽ノ象チハ、陰ノ物ヲ枯スヨリモ、陽ノ物ヲ生育スルガ多キ道理ヲ、伊弉諾尊、伊弉册尊陰陽ノ御詞トシテ、天理ノ象チヲ説カセラレタノデアル。

因曰自此莫過即投其杖是謂岐神也。

前ニ述ブル如ク、陰神ニ後レ玉ヒテ、愁傷ノ迷ヒヨリ、陰闇ニ沈ミ、一向陰ニ陷井リ玉ヘ、本神明ニテ坐マス故ニ、御悟リヲ得玉ヒテ、陽明ニ歸リ玉フ。其ノ迷ヒト悟リトノ理ヲ御説キナサレ、今日心頭ニ道ヲ悟ルト迷ヒニ至ルトノ事ガ、爰ニ籠リテ居ルノデアル。上ニ天理ヲ説キ、其ノ天理ヨリ又人情ニ移シ、其ノ縁ヨリ又天理ノ本ニ歸ツテ説カレ玉ヒタノデアル。上ニ述ブル如ク、陰闇ニ御沈ミナサレシ事ヲ御後悔ナサレ、陰闇ニ觸レ玉ヒシ物ヲ、祓ヒノ事相ニ御投ゲナサレテ、迷ヒヲ御悟リアリ、橘ノ憶原ニ至リ玉ヒテ、内清淨、外清淨ノ祓ヒヲナシ玉フ。爰ニ、陰闇ノ地ニ御惑ヒナサレシ物ヲ祓ヒ玉フハ、外清淨デアル。○岐トハ、(クルナカレ)ト云フ事。○杖ハ、ツクモノデアル。千

里ノ道モ杖ヲ以テツキ行ク故ニ念慮ノツキ來ラザル事相ニ、陰闇ニ御用井ナサレシ杖ヲ御投ゲナサレ、二度陰闇へ赴クマジ、迷ヒ來ルナト云フ事相デアアル。則チ爰ニ靈氣ヲ立テテ、コレヲ岐神ト號ケラレタノデアアル。御念慮ノ來ルナト云フ意、御念慮ヲ深ク制シ慎ミ玉フ御詞ヨリノ名義デアアル。

又曰ク、因テ曰ハクトハ、例ノ自問自答デアアル。▲此レヨリ莫過ギゾトハ、過グル事ナカレトノ意。但シ過グルヲ云ヘバ、不及ノ義ハ自ラ具ハル。▲杖ヲ投ゲ玉フトハ、新タニ浴ミスル者ハ必ズ衣ヲ振フト云フガ如ク、不淨ニ觸レテハ、手ヲ洗フガ如シ。然レバ爰ハ、泉津ノ穢レヲ祓ヒ玉フ處ノ事相ヲ説カルル事デ、前醜女ノ追フ處ヨリ段々ト陽善ニ御歸リ成サレテ、即チ本ノ内裏へ還御アラセラレ玉フ處ノ、祓ヒ

ノ事相ヲ説カセラレタノデアアル。今人ヲ葬ムル場へ、穿イタ草履ヲ捨テテ歸ルガ、コレ等ハ古ヘク事ノ殘レルノデアアル。祓ヒク事ハ、櫛原ノ處ニ出デタレ、彼ノ(カ)リモガリノ場へ御越シ成サレシ時、御穢レニ觸レ玉フ處ノ具ヲ御投ゲナサレシハ、即チ祓ヒノ事相デアアル。爰ニ杖ヲ投ゲ玉フハ、則チ情用ノ自然デアアル。此ノ處受用ニ取りテハ、善惡、是非ヲ分ケテ、善ニ進ンデ惡ヲ避クルガ第一デアアル。偕人物ト亘リ、人ノ至ツテ貴キト云フハ、淨穢ヲ分クル此ノ一ツニ極マルノデ、杖ヲ投ゲラルルハ、野葬ノ場ヘツキ玉フ故デアアル。▲岐神ト申スハ、道路ヲ守リ玉フ神ニテ、道ノ辻ニ坐マス神デアアル。(タ)ナドトハ、(ク)ルナトノ訓。(ヲ)ナドト云フ。コレ同訓デアアル。亦(衢)神ト申ス。岐トハ、醜女ニツイテ來ルナトノ義デアアル。偕又杖ガ

神ニドウシテ成ラレタト云ヘバ、コハ杖ノ靈デアル。杖ハ道路ニツク物故デアル。我が國デ、物アレバ神ト云フニ譯アリ。杖ハ道路ニツイテ形チヲ助ク。去ル程ニ儒デハ、道路ニツイテ形チヲ助クルト云フガ窮理ダト云フマデニ止マリ、火箸ハ火ヲ狹ムガ理ト計リ見テ居ル。此ノ方デハ、筆ヲ執リテ物ヲ書クト、筆ノ靈ガアリ、杖ト云フト、杖ノ靈ガアル。一物一物ニ能ク其ノ理ノ至ル處ヲ知ル。若シコレヲ知ラザレバ、人ヲモ人トノミ見テ、ソレデ其ノ靈ノアル事ヲ知ル事ナラズ。一理萬珠ト云フモノハコレデアル。投ゲテ初メテ神ト成リタルニハアラズ。杖ト云フ物がアルト、ハヤ靈ガ有ルノデアル。投グルトアルハ、前ノ縁ニ因テデアル。畢竟仁者ハ物ヲ破ラズト云フハ、爰ニアルノデ、常ノ人ニ云フテハ、合點ノユカヌ

事ト思フ。道ノ貴キ事斯クノ如シ。既ニ道路ヲ守リ玉フ神アリ。其ノ道路ノ神ヤ、杖ノ靈ヤ、一般デアル。伊弉諾尊ノ杖ガ神ニ成ルト云フニ譯ノアル事。天ハ即チ伊弉諾尊、伊弉册尊デアアル。

又投其帶是謂長道磐神。

○帶ハ、一身ヲ纏ヒ結ヘルモノ。迷ヒハ念々ニ纏ヒ結ボウルモノ故、其ノ縁ヨリ、念慮ノ纏ヒ結ボウルヲ解キ、祓フ事相ニ帶ヲ投ゲ玉ヒタノデアアル。コレヲ長道磐神ト稱スル事ハ、長ハ帶ノ縁。千ハ、道ノ意。磐ハ、堅固ノ意。迷ヒヲ御悟リナサレテ、其ノ迷ヒト悟リトノ道ヲ爰ニ解イテ、迷ヒノ道ヲ堅確ニ塞グ意デアアル。

又投其衣是謂煩神。

○衣ハ、衣服ノ事ニテ(身ニ添フ)ト云フ訓デアアル。コレヲ煩神ト稱スル事ハ、形チニ依リ身ヲ掩フハ、念慮ガ本心ヲ掩フニ似タルヲ以テ、煩神ト號ケラレシ。煩ヒハ多ク念慮ノ掩フ處ヨリ發ル。此ノ念慮ノ掩フヒタルヲ祓フ事相ニ、一身ノ衣ヲ投ゲ玉ヒタノデアアル。

又投其禪是謂開嚙神。

○禪ハ、上代ヨリ今モ等シク、口一ツニテ裾三ツデアアル。コハ、人ノ口ヲ開キテ飲食シテ、大小便へ落ツル如クナレバ、袴ノ形チヨリ、開嚙神ト號ケラル。凡ソ神道ニ再見ヲ忌ムハ、中臣、祓ニテ述ブル如シ。情ヨリ情ニ移リ、二念ニ亘ル穢レヲ祓ヒ玉フ事相ニ袴ヲ投ゲ玉ヒタノデアアル。

又投其履是謂千敷神。

○履ヲ投ゲ玉フトハ、履ヲ穿イテハ、實地ハ踏マレズ。情ヨリ情ニ移リテ本然ニ歸ラザルハ、履ヲ穿イテ實地ヲ踏マヌ如クデアアル。依テ亂レシ心ノ、唯一本然ノ處へ歸リ玉フ事相ニ履ヲ投ゲ玉フ。

○千敷トハ、道敷ト云フ事。履ハ道ヲ踏ミシクモノナルガ故デアアル。履ノ如キハ、氣形ノモノト一ツニハナラネ。凡、靈アルハ一ツデアアル。我が國ノ道ハ、爰ヲ知ル故ニ、事トシテ我がスルニアラズ。コレヲサスル神アル故ニ、スルノデアアル。爰ヲ知ル故ニ、自專セズ。虛明ニシテ自專ノ心暫クモ無キ時ハ、自ラ敬ミノ具ハルモノデアアル。

其於泉津平坂。或所謂泉津平坂者。不復別有處所。但臨死氣絕之際。是之謂歟。

爰ガ結語デアアル。則チ前ノ黃泉ヨリ平坂ニ到ラセラルルマデノ間ノ事ヲ、爰ニテ其ノ道理ヲ決セラルルノデアアル。

○其ノ泉津、平坂ニ到ラセラルルマデノ間ニ、黃泉ニ入り玉ヒ、共ニ語り玉フ雜々ノ事ヲ舉ゲラレテアル故、ソレデ黃泉ト云フハ、此ノ國ノ外ニ國ノアル様ニ見ユレ、眼前迷ヒト悟リトノ間ニアルノデ、其處ヲ決シテ、爰ニ示シ玉ヒタノデアアル。泉津平坂ノ事ハ、前ニ述ブル通り、泉津ハ陰闇、迷ヒノ方デアアル。平坂ハ陽明、悟リノ方デアアル。悟リト云フモノモ、元迷ヒト云フモノアツテ、悟リト云フ名ハ起ルノデアアル。泉津、平坂ト云フハ、別ニ處アルニアラズ。今日手近ク云ヘバ、死ニ臨ンデ、息ノ絶エントシテ未ダ絶エザル處デアアル。死道ハ陰闇、泉津デ、生道ハ陽明、平坂デアアル。畢竟迷ヒト悟リハ、生死ニ象リテ我ガ一念ノ上ニ存スルノデアアル。

又曰ク、泉津平坂ニトハ、陽善ノ地ニ於テ投ゲサセラルル故、皆神ト成ルノデ、陰陽等分ニシテナス時ハ、今日ノ人ノナス處モ皆神ト成ルノデアアル。陰闇ニ入ルカ、陽ニ片寄ルト、平坂ナラズ。爰ガ神書ノ妙デアアル。云ハズシテ慎ミノ常ナル處斯クノ如シ。

所塞磐石。是謂泉門塞大神也。亦名道反大神矣。

○塞ガル磐トハ、前ニ千引キノ磐ヲ以テ其ノ坂路ヲ塞イテトアル處ノ結語デアアル。陰闇ノ坂路ヲ、悟リノ一念モテ立チ塞グ處ガ塞ガル磐デアアル。爰ニ靈氣ヲ立テラレ、其ノ神体ヲ塞大神ト號ケ玉フ。即チ其ノ陰闇ノ道ヲ塞グ神デアアル。

○亦ノ名ハ道反大神トハ、道反ハ、道ヲ返スト云フ意。既ニ塞ガル處ニ到レバ、往ク道ヲ返ルヨリ外ハナシト云フ理リ、陰極マツテ陽明ニ歸ル處ノ神靈デアアル。即チ陽德ヲ以テ道ヲ返ス意故、道反、大神ト稱ス。コレヨリ人ノ死スル時、此ノ神ヲ祭リテ蘇生ヲ祈ル、コレヲ招魂ト稱スル事アリ。誠ヲ盡シテ祈ル時ハ、死ニ至ル者モ、往ク道ヲ返ルガ如ク蘇ル理リヲ以テ、道反、大神ト申スノデアアル。又後世道饗祭ト申シテ、王城ノ四方ノ角ヘ出テ、邪氣ノ外ヨリ京中ヘ入り來ルヲ、路上ニ供物ヲ備ヘ、祭リナゴメ返ス事アリ。コハ申スマデモナク、天子ノ坐マス都ヘハ、陰邪ヲ近寄セズ、陽ヲ助ケテ陰ヲ去ル祭リデアアル。

伊弉諾尊既還、乃追悔之曰、吾前到於不須也、凶目汚穢之處、故當滌去吾身之濁穢、則

往至筑紫日向小戸橘之櫛原而祓除焉。

爰ハ前ニモ述ブル如ク、不須、凶目、汚穢、陰闇ヘ至リ玉フハ、御迷ヒナサレシ故ト知ロシ食シ、先非ヲ追ヒ悔イサセ玉ヒテ、是ニ於テ御身ノ穢レヲ濯ガント思召シテ、祓除ヲナサレタノデアアル。道ハ事理、体用一致スルガ肝要ナレバ、心計リヲ祓ヒ清メテモ、形チニ穢レアツテハ調ハズ。去ルヲ心サヘ清淨ナラバ、身ハ不淨デモ苦シウナイト云フハ、異端ノ見デ、内外清淨唯一デナウテハ、我が國ノ則トハ云ヒ難シ。依テ筑紫ノ櫛原ヘ御出デアツテ、祓除ヲナシ玉ヒタノデアアル。爰ガ我が道祓ヒノ濫觴デアアル。祓ヒトハ、人欲ヲ祓フノ名デアアル。伊弉諾尊ノ御迷ヒニ依テ陰闇ニ御沉ミナサレシハ、皆迷ヒノ情ニ因テデアアル。今日事コソカハレ、形チノタメニ、心頭ニ迷フモ、同ジ理リデアアル。伊

伊弉諾尊祓ヒテ爰ニ御示シナサレテヨリ、今日道ヲ行フニ、日用ノ祓ヒテスル事トナレルノデアアル。

尙ホ祓除ハ其ノ理ヲ 伊弉諾尊ヨリ 天照太神へ御附屬ナサレ、ソレヨリ天兒屋命へ傳ハリテ、中臣一卷ノ書ト成リ、其ノ重キ理リハ、一卷ノ書ニ、治國平天下ノ教へマデ籠ツテ居ルノデ、其ノ意義ハ、中臣祓ニテ講ズル通り、至ツテ奧祕ノ義デアアル。

遂將盪條身之所汚乃興言曰上瀨是太疾下瀨是太弱便濯之中瀨也。

段々上ノ御文ヨリ次第スル通り、伊弉諾尊御一念ノ迷ヒテ以テ身心ヲ汚シ玉フニ依リ、コレヲ濯ギ祓ハセラレテ、清淨ノ

本然ニ歸リ玉ハントスル處デアアル。

○興言シテノ玉ハクトハ、情内ニ動ク時ハ、必ズ詞ニ顯ハルルノデアアル。

○上ツ瀨ハ是レ太ダ疾シ。下ツ瀨ハ是レ太ダ弱シトノ玉ヒテ、便チ中ツ瀨ニ濯ギ玉フトハ、檣原ノ川瀨ニ至リ玉フト、上ツ瀨ハ潮甚ダ早ウシテ、御心モ共ニ闊ハシウ思召サル。依テ下ツ瀨へ下リテ見玉へバ、下ツ瀨ハ甚ダ弱ウシテ、進ム御心モ自ラ怠ラセラルル様ニ成レリ。此ノ心ト云フモノハ、形チ無キモノナレバ、萬境ニ因テ轉ズルモノデアアル。去ル程ニ心ト云フモノハ、敬ミテ守ル處ヲ最モ肝要トシテアル。然レバ甚ダ早く、甚ダ弱キ時ハ、過不及ニシテ、共ニ中体ニ叶ハネバ、御心ニ應ジ玉ハズ。是ニ於テ中ツ瀨へ至リ玉へバ、疾カラズ、悠カラズ、能ク

御心ニ叶ヒ玉ヒシ故、此處ニテミソギシ玉フ。神書ノ要文ニ「水ハ身ヲ濯ギ、身ハ心ヲ濯グ」トアツテ、水ヲ以テ身ヲ濯ゲバ、身ノ不淨ヲノミ去ルト思ヘド、其ノ身ハ又心ヲ濯グ。元体用一般ナレバ、身ヲ濯グ處ニテ、心ハ自ラ清ウ成ルノデアル。コレガ祓ヒノ根元デアル。又内清淨、外清淨ト云ヘルモ、爰ニ基ク。則チ内清淨ハ、心地ニ就キテノ祓ヒ、外清淨ハ、形チノ上ニ就キテノ祓ヒデアル。萬事ニ物ヲ清ムルト云フガ、先ヅ祓ヒノ第一ナレバ、ソレモ一途ニ清ムル時ハ、限りモナシ。餘リ清メ過グレバ、却テ不淨ニ歸ル事アリ。故ニ中ツ瀬ニ濯グト云フガ、肝要ノ義デアル。

因以生神號曰八十枉津日神。

爰ハ、伊弉諾尊悟リノ御心ノ神號ヲ御舉ゲ成サレタノデア

○八十枉津日トハ、八十ハ、我が道ニ用フル數デアル。枉ハ、マガルト云フ事。津ハ、助語。日ハ、陽德。伊弉諾尊御哀愁ノ迷ヒニ依テ、天理ヲ八十枉リ程ニ御枉ゲ成サレタノデアアル。爰チ御悟リナサレシヨリ、其ノ神ヲ斯クハ舉ゲラレ玉フ。迷フ者ハ迷ヒチ知ラズ。伊弉諾尊御迷ヒノ内ハ、其ノ御枉リ成サレシ事ヲ知ロシ食サズ。時ニ天理ノ本分ニ御歸リ成サレテ見サセラルルニ、形チノタメニハ八十枉リ程枉レリト知ロシ食ス處ノ悟リチ、爰ニ八十枉津日、神ト號ゲラレ玉ヒタノデアアル。凡ソ今日ノ人情モ、迷ノ上ナラバ皆八十枉リデアアル。依テ我が心ノ枉ル處チ知ルハ、慎ミニアルノデアアル。

次將矯其枉而生神號曰神直日神次大直。

日神。

○神直日トハ、其ノ八十枉リニ枉ル處ヲ、陽明ニ御立チ歸リナサレテ知ロシ食ス處ヨリ、御心堅固ニ御愼ミテ厚クナサルル處ガ、神直日デアアル。直ハ、御心ノ直ナル處ヲ御號ケナサレタノデアアル。日ハ、陽德其ノ過チヲ御改メナサレ、八十枉リノ處ヲ知ロシ食シテ、ソレヲ直サント思召スモノハ、神直日デアアル。

○大直日トハ、大ハ、天德天程大イナルハナシ。全体神明ニ御立チ歸リナサルル處ヲ、大直日神ト申スノデアアル。大イニ直ニト申スハ、神明ノ全体デアアル。道理ヲ盡シテ見レバ、大イニ直ヨリ外ハナシ。

又曰ク、此ノ三神ハ、心化ノ神デアアル。有實無形ノ神ナリト相傳スルノデアアル。其ノ形チ無クシテ而モ實ハ有ル。畢竟

伊弉諾尊ノ御念慮ノ上ヲ指シテ申シタモノデアアル。故ニ垂跡ニアラズ。人々皆此ノ三神ヲ備ヘテ居ル。愼ム時ハ、我レモ即神直日、大直日デアアル。

又沈濯於海底。因以生神。號曰底津少童命。 次底筒男命。

○海ノ底ニ沉ミ濯ガセラルルヲ、潜キ濯グト云フ。此ノ故ニ、潮ニ入ルヲ、潜キノ海士ト呼ブ。

○底津少童命トハ、海ノ底ニトアル縁ヨリ號ケラレシ御名デアアル。少童ハ、海ニ住ムト云フ意。又ワキタツ海ト云フ訓デアアル。

○次ニ底筒男命トハ、爰ハ、事相ハ大底ヲ説カレテ、畢竟ハ、傳

無ウテハ濟ミ難シ。伊弉諾尊憶原ニ至リ玉ヒテ外清淨ヲ調ヘ、天地一体ノ正シキニ歸リ玉ヒテ、爰ニ天ノ日ノ三天ノ道理ヲ悟リ玉フ。日ハ萬物ノ象チノ始メ。世界開ケ、初メテ形チヲ現ハセシモノハ日デアアル。東西南北、四時ノ運行モ、皆日ヲ以テ知リ玉フ。コレニ就イテ、三天ノ位ト申ス事アリ。三天トハ、一年ノ内ニ天ノ運行三處ニ移リ變ルヲ云フ。先ツ冬至ニハ、辰巳ヨリ日出デテ未申ニ入ル故、此ノ時ハ、日短ク、夜ハ至ツテ長シ。春秋ノ時正ニハ、卯ノ方ヨリ日出デテ酉ノ方ニ入ル故、此ノ時ハ、晝夜等分デアアル。夏至ニハ、丑寅ノ方ヨリ日出デテ戌亥ノ方ニ入ル故、此ノ時ハ、日至ツテ長ク、夜至ツテ短シ、コレヲ三天ト申ス。異邦ニテハ、漸ク堯ノ時ニ悟ラレシトアル。二年元三天ニシテ、此ノ三天ニ依テ一年ヲ四時ニ分チ玉フ。伊弉諾尊ノ御時已

ニ自生セル五穀萬葉ノ實ヲ收リテ、來年ノ收穫マデ、即チ秋マデノ蓄ヘヲスル事ヲ御悟リナサレテ、萬民ノ飢ニ臨ムヲ助ケ玉フ。然レモイツ種ヲ蒔キ耕スト云フ事ハ定マラザリシニ、此ノ三天ノ運行ヲ御悟リ成サレテヨリ則ト成リ、天照太神ノ御時モ、春種蒔キ、夏耘リ、秋收リ入ル事ヲ農民ニ教ヘ玉ヒ、コレヨリ我が國萬國ニ秀デテ五穀豐饒ノ國ト成リ、皇祖ガ「豐葦原、千五百秋瑞穗國」ト宣セ玉フニ至リシ事モ、畢竟此處ニ起因スルノデ、重々相傳ノアル事デアアル。

又潛濯於潮中。因以生神。號曰中津少童命。
 次中筒男命。又浮濯於潮上。因以生神。號曰表津少童命。次表筒男命。凡有九神矣。其底

筒男命^{ツツノヲノ}中筒男命^{ナカツツノヲノ}表筒男命^{ウハツツノヲノ}是即住吉大神^{チスミノエノオホシガミナリ}矣。

相聞エシ通り、爰ハ、住吉ノ神体ノ事ヲ舉ゲラレ玉ヒタノデア
ル。住吉ノ神体ノ事ハ、社家ノ傳ト、此ノ方ノ傳ト、相違シテ居ル。
社家ノ傳ハ、第一ヲ 天照太神、第二ヲ 宇佐明神、第三ヲ 底
筒男、中筒男、表男筒ト、此ノ神々ヲ祭リテ三社トシ、コレニ 神
功皇后ヲ入レテ四社トス。コレハ誤リデアアル。道統ノ傳ハ、住吉
三社デアアル。住吉御神体ノ義ハ、和歌三神三聖ノ御相傳ト申シ
テ、八雲神詠ノ御相傳ノ上ニテ傳授スル事ニナツテ居ル。住吉
ハ、長門ノ住吉、最初ニ祭ラレシ處デアアル。住吉ハ海邊ナレバ、ス
ミノエノ讀ミガ宜シ。海邊故(エ)ト云フ。

傳ニ。住吉三神ヲ 日、神同一体ト説カレテアル。然ラバ
天照太神カト云ヘバ、左右デナシ。人ニ於テ云ハバ、本心ト意
バセトノ如ク、三神ハコレ意バセノ如シ。歌ヲ詠ムニ、性動イ
テ情ト成リ、喜怒哀樂共ニ、物ニ感ジ動イテ情ト成ル。即チ一
理ノ心ガ動イテ意バセニ成リ、其ノ馳セ出ル處ニ道ガアル。
則チ意バセノ馳セ出様デ、善惡ガアルノデアアル。情ヲ(ナサケ
ト訓ズ、ナサケ)ハ、七ツニ裂ケト云フ意。即チ七情デアアル。七情
ヲ統ブレバ、喜怒哀樂ノ四情ト成リ、コレニ土ヲ入レテ五行
ノ數ト成ル。歌ヲ詠ムニ、歌ハ情ノ用デアアル。情ハ、性ノ用デア
ル。一氣既ニ開ケテハ、次第ガナクテハナラズ。然レバ情用ハ
爰ニ備ハルノデアアル。四時晝夜アルハ、天ノ情デアアル。人ノ情
モコレニ同ジク、天道ノ四時ヲ行ハルルト、人ノ情用ヲ以テ

人道ヲ行ハルルト、全ク一般デアル。去ル程ニ能因法師ガ歌ニヨリテ雨降りシ事アリ。コレハ、天人合一ナルガ故ニ、天感アツテ雨降ルノデアル。天ノ公ケデ、道ニ暗カリシト見エタレ。凡、歌道ニ達スル故ニ、雨降りタノデアル。歌ヲ詠ムニ、能ク情用ヲ述ブルニ至ツテハ、三神ノ御心ニ叶ヒ、天感アルノデアル。即チ天ノ四時ト同ジ事デアル。▲ワダヅミトハ、大切ノ義デアル。筒男ガドコカラ出タト云ヘバ、譬ヘバ人ノ七情ノ起ルガ如ク、事至ル時、性ニ感ジ、情ト成ル。筒男ノ三神モ、其ノ起ル元ガナケレバナラズ。其ノ元ハト云ヘバ、ワダニツンダモノデアル。然レ凡、罪咎ノ積ムト云フ意トハ、一ツニハアラズ。譬ヘバ牡丹ノ花ガ芽ザシテ、ソロソロ厚クナリテ咲キ出ヅルガ如シ。其ノ花ハ元根ザス處アツテ、ソロソロ積ンデ

咲クノデアル。人事ノ業モ、ヒタト積ム處デナケレバ、事成ラズ。積ムト云フモノ大切ナ事デアル。大イ成ルモノ、天ヨリ大イナルハナシト雖凡、積ミ積ムニ依リ、天ノ情用行ハルルノデアル。人モ人性ニ沈ミ、ヂツト基ク時ハ、積ムト云フモノデ、情用行ハルルノデアル。受用ニ專ラナル所、然レバ(ワダヅミ)ガ全体デ、アツテ、其ノ(ツム)ト云フガ陰德デ、開クガ陽德ナレバ、爰デ八月ガ体デ日ヲ用ト見ルノデアル。場ニ依リテ見ル事デ、人ニ於テ、人性ハ体デ、陰デアル。心ハ用デ、陽デアル。▲爰ニ(ワダヅミ)ヲ少童ト書カレシハ、底トハ、翁ノ事デアル。翁ハ、(沖ノ名)ニテ、即チ鹽土翁ノ事。其ノ翁ノ縁カラ少童ト云フ文字ヲ用井ラレタノデアル。萬珠若イヨリ年寄ラネバナラズ。此ノ故ニ、少童ノ文字ヲ用井ラル。コレモ積ミテ翁トナルノ

デアル。人ノ七情ハ翁デ、年寄りデアル。性ハ即チ少童デアル。
 ▲九神トハ、前ノ八十柱津日、神ヨリ合セテ九神デアル。九
 ハ、陽數デ、太陽、祓ノ神トスル事。太陽、祓ニ就イテ、末ノ六神ヲ
 太陰、祓トナス。 倭我ガ國ノ道ハ、水氣ニ依リテ説カルル事
 多シ。コハ天人共ニ、水火ノ二ツニ依ラ子バ立タレザル故デ
 アル。

底津少童命。中津少童命。表津少童命。是阿
 曇連等所祭神矣。

コレハ、筑前ノ斯賀明神デアル。阿曇ハ姓デ、連ハ(カバネ)デアル。
 此ノ神ヲ阿曇氏ノ人齋キ祭ルト云フ事。阿曇、宿禰ノ始祖ハ、海
 神豊玉彦神ノ子穗高見命デアル。

然後洗左眼。因以生神。號曰天照大神。

此ノ『然フシテ後』トアルハ、上ヨリ文意ヲ次第シテ見テハ、道理
 相違スルノデアアル。コレヨリハ、天照太神、月讀尊、素戔嗚
 尊御出生ノ義ヲ説カルルノデ、此ノ三神御出生ノ後、伊弉册
 尊崩御シ玉ヘバ、伊弉册尊御在世ノ時デアル。然ルニ此ノ御
 文法、伊弉册尊崩御成サレ、泉津ヘ入り玉ヒテ後、ト次第シテ
 見テハ、濟マヌノデアアル。此ノ『然フシテ後』ハ、爰デ文ヲ改メテ見
 ル御文義デ、例ノ横ノ並ビノ意デアアル。此ノ中ニハ、伊弉册尊
 崩御ノ義モ籠リテ居ルノデアアル。

○左リノ眼ヲ洗ヒ玉ヒテトハ、前ノ一書ニ『伊弉諾尊ノ玉
 ハク、吾レアメノシタシラスベキ珍ノ子ヲ生マント欲フトノ
 玉ヒテ、乃チ左リノ手ヲ以テ白銅ノ鏡ヲ持リ玉フトキ化リ出

ヅル神マス、是レヲ大日靈尊ト謂ス。ト出デシト同ジ意ニテ、左
リノ眼ヲ洗ヒ玉ヒテトハ、御懷胎ノ内、伊弉諾尊、伊弉册
尊ノ別ケテ御愼ミヲ厚クナサルル處ヲ説カレ玉ヒシモノデ
アル。左リハ、天ニテ、日月運行ニ象ル。然レバ「左リノ眼ヲ洗ヒ玉
ヒテ云云」トアルハ、天理一枚ノ誠ニ御立チ歸リ成サレ、御愼ミ
成サルル處ヨリ、大德ノ御子 天照太神ヲ御生ミナサレシト
ノ義デアアル。

復洗右眼。因以生神。號曰月讀尊。

次ニ 月讀尊ヲ御出生ナサレシ。此ノ神、天照太神ノ御德ニ
合セテ、其ノ右ニ次グ程ノ御德坐マストノ理リモテ、月讀尊
ト申スノデアアル。御名義ハ、本文ニテ講ジタレバ、爰ニハ略シテ
措ク。

復洗鼻。因以生神。號曰素戔嗚尊。凡三神矣。

○鼻ヲ洗ヒ玉フトハ、目ヲ洗ヒ玉フトアル縁ニ因テ説カル
ル事デアアル。鼻ハ「ハジメニナル」ノ略。コレ祕訓デアアル。鼻ハ形チ
ノ始メニシテ、今日人ノ胎内デ形チスルモ、鼻ガラ先ヅ成ルト
云フ。去ル程ニ我が依テ出ヅル先祖ヲ「鼻祖」ト云フモ、コレヨリ
通ジテ申スノデアアル。今日人欲ハ皆形チニ屬ス。然レバ鼻ヲ洗
フハ、形チニ依ル道理デアアル。素戔嗚尊ノ御暴惡ハ、形チニ屬
ス。盖シ神明ト雖、御敬ミノ處ニ又怠ラセ玉フ處アリ。依テ爰
ハ、伊弉册尊形チニ就キテ怠リ玉フ處ヨリ生メル御子ヲ
素戔嗚尊ト申ストノ義デアアル。

已而伊弉諾尊。敕任三子。曰天照大神者。可

以治高天原也。

三子ノ御天性ニ依リ、ソレゾレノ天命ヲ以テ、勅任ノ事ヲ御説キナサレタノデアアル。

○コトヨザシテトハ、ヨセマカスル事。

○天照大神ハ以テ高天原ヲ治スヘシトハ、高天原ハ、中臣、祓ニテ述ブル如シ。爰ノ高天原モ、一應ハ、清淨ニシテ、神明ノ留マリ玉フ處方處ヲ申セバ、蒼々タル天ヲ指ス。今日神明ノ留マリ坐マス神社モ即高天原デアアル。又御一人ノ帝位禁廷モ高天原デアアル。天照太神へ御一人ノ御位ヲ御授ケ成サレテ、天下萬人ノ主トナラルル様ニトノ義ヲ「高天原ヲ治スヘシト」出ダサレタノデアアル。

月讀尊者可以治滄海原潮之八百重也。

一應ハ、月讀尊ハ、月ノ縁ニテ、此ノ潮ノ八百重ヲ治スヘシトアルノデアアル。潮ハ、月ノ満チ虧ケニ因テ満チアリ。其ノ道理ト一致ノ理リヲ御示シ成サレ、ソレヨリシテ爰ニ、潮ノ八百重トアルハ、滄海ノ限リナキヲ申シタノデアアル。

○滄海原トハ、滄海ヲ指ス。國土ノ限リハ、滄海デアアル。天照太神ハ、御一人ノ御位ヲ受ケサセラレテ、天下ヲ知ロシ食シ、月讀尊ハ、天照太神ニ次デ、天下ヲ輔佐成サレ、遠國波濤ノ國々ヲ治メ、王化ニ漏レシ處ヲ惠ミ玉フ様ニトノ御事デアアル。委細ハ上ノ或説ニ歸ツテ見ルベシ。後世筑紫ニ太宰府ヲ置カレ、奥州ニ鎮守府ヲ置カルルモ、爰ニ基ケルノデアアル。

素戔嗚尊者可以治天下也。

素戔鳴尊ハ元ヨリ御男神ニ坐マス故、天照太神ノ輔佐トシテ天下ノ政ヲ行ヒ玉ヘトノ勅任ニテアリシ。

是時素戔鳴尊年已長矣。復生八握鬚髯雖然不治天下。常以啼泣恚恨。

コレモ、素戔鳴尊ノ御性リヲ舉ゲ玉ヒタノデアアル。

○年已ニ長イタリトハ、段々御年モ長ゼラレシトノ事。四十以上ヲ老ト云フ。ハ、ソレニモ限ラズ、段々御年モ長ジテ八握ノ鬚生ヒタリトノ義デアアル。

○八握トハ、八握ミニテ鬚ノ多キ意。コハ、八握ミニモ限ラズ、御鬚モ長ジ、御年モ長ゼラレシトノ義デアアル。

○常ニ以テ啼泣恚恨トハ、怒リフツクム事デアアル。伊弉諾

尊初メ、素戔鳴尊御幼年ノ時ハ、御男子ノ事デモアリ、殊ニ御氣性モ雄々シク在ハシケレバ天下ノ事ヲモ治メラルル様ニト思召シテアレハ、御成長ニ隨ヒ、天性ノ御氣宜シカラズ。上ノ御心ニ叶ハザル故、天下ノ政事ヲモ御任セナサレズ、其ノ儘ニ差置カレシ故、御恨ミノ思召シヨリ、斯クハ啼キイザチフツクミ玉ヘリ。

又曰ク、素戔鳴尊ハ短慮ノ御性リデアアル。ソレヲ「啼キイザチ」ト説カレタノデアアル。素戔鳴尊ノ御功作ヲ申セバ、我が國三種ノ神器ナドハ、素戔鳴尊ニ起ル事ナレハ、御短慮故、天下ヲ治メ玉フ事ハ成ラズ。▲イザチトハ、(タケダケシキ)デアアル。▲フツクムトハ、含ム事デアアル。内ニ含ムヲ云フ。受用ニ切ナル所。内ニ含ムモノアレバ、外ニ現ハルルモノデア

ル。

故伊弉諾尊問之曰汝何故恒啼如此耶對曰吾欲從母於根國只爲泣耳伊弉諾尊惡之曰可以任情行矣乃逐之。

○對へテノ玉ハク吾レ母ノ尊ノ根ノ國ニ從ハント欲フ只泣ツコトヲ爲ス耳ト申シ玉フトハ、御恨ミノ思召シヨリ斯クノ如ク御對ヘアラセラレタノデコレ皆今日宜シカラヌ性質ノ上ニアル事デアアル我ガ身ヲ省ミル事ナク只人ノ上ノミヲ恨ミフツクミ玉フ斯様ノ類今日ノ上ニモ儘アリ人々今日己レヲ慎ミ勤メ守ル事ハ天命ヲ盡スト申スモノデアアル縱ヘ天ノ福ヒヲ得ズト雖モコレモ天命ト存ズレバ上天ヲモ恨ミズ

下人ヲモ咎ムル事ナシコレヨリ自ラ天ノ冥助ニモアツカルベキヲ小人ハ己レヲ省ミズ只人ヲノミ惡シト思フテ恨ミヲ含ムノデアアル▲母ノ尊ノ根ノ國ニ從ハント欲フトハ、伊弉册尊ノ崩御アリシ處ヲ指シテ某シモ母ト共ニ死ニ度キトノ玉ヒタノデ此ノ間ニ上ニ御説キアリシ伊弉册尊崩御ノ事モ籠ル父ノ尊ノ何故ニ斯クノ如ク泣クゾト問ヒ玉ヘバ右ノ如ク御對ヘアラセラルコハ畢竟御年寄ラセ玉フマデ天下ノ政ヲモ預ケ玉ハズ其ノ儘ニ差置カレシヲ御身ノ御惡性ヲモ顧ミズ御恨ミノ御述懷デアアル俗ニ死ンダガマシダト云フ意味ニテ我ガ身ヲ省ミズ人ヲ恨ミ己ガ慎ミヲ忘ルルヨリ斯クノ如キ御言葉モ出ヅルノデアアル

○惡ハ、(ワラヒテ)ト(ニクミテ)トノ兩點デアアル笑ヒテトアル

ハ、俗ニ云フ苦笑^{ニガ}ヒデアル。伊弉諾尊、ツタナキ御詞ト思召スヨリ、ワザト是非ヲモ論ジ玉ハズ、其ノ方ノ心ノ儘ニ根ノ國へ參レヨトアツテ、中國ニハ差置カレズ、根ノ國へ遣ハサレ玉フ。爰ガ愛ノ餘リ、子ヲ見ル事親ニシクモノナシト云ヒテ、道ヲ以テ教ヘ玉ヒテモ、素戔嗚尊惡性ニシテ、變化シ玉ハヌ御氣象ヲ、伊弉諾尊知ロシ食サレ、惡人ハ落サザレバ懲リザル理リヲ以テ、邊土ノ根ノ國へ遣ハサレ玉ヒタノデアル。

又曰ク。カク啼ク耶トハ、一度ハ天下ヲモ御讓リ成サルベク思召ス處ニ、斯クノ如ク啼タハ何故ゾト問ヒ玉フハ、父母ノ情ニシテ、情用ノ自然ノ場デアル。天下ノ事何事ニ依ラズ、故ナキ事ハナシ。此ノ故ニ、問ハセラルルノデアル。▲ヤツガレトハ、自ラノ事デ、卑下シテ申ス言葉デアル。▲根ノ國

ニ從ハント欲フトハ、根ノ國ハ、左遷ノ地ニシテ、北方極陰ノ地ヲ指ス。亦死生ニ就イテ云ヘバ、死ガ根ノ國デアル。然レバ、伊弉冊尊ト共ニ死ニマシタイト云フ意義デアル。死生ハ命アル事ナルニ、徒ラニ死ニタイトアルハ、短慮ノナス處ニテ、今日徒ラニ死スル人ハ、天命ニ背クノデアル。▲タダニ泣ツトハ、道理無キ事ニ泣クヲ云フ。故ナキガ、タダニ泣クト云フモノデアル。此ノタダト云フニ譯アリ、無心ヨリスルモ、タダデアル。子ヲ慈愛スルモ、タダデアル。爰ノタダハ、徒ラト云フ意義デアル。儲爰ノ惡ト云フ字ニ(ワラヒテ)ト點ノアルハ、當家ノ點デアル。(ニクミテ)ト云フ點アレ取ラズ。コハ譯ノアル事デ、笑フト云フハ、教ヘテ入ルニハ、的ガナケレバ入レラレズ。然ラバ塞ガヌ様ニ開イテ入ルト云フモノガ、

父母ノ子ヲ思フ情ニシテ、大切ナル處デアル。其ノ人ノ性リ
ヲ知ラズ、強ヒテ教ヘントスルハ、不能ノ事デアル。然ルニ若
シ強ヒテコレヲ教ヘントスレバ、損フ。去レバトテ、捨置ケバ、
又損フ。去ル程ニ笑フテ根ノ國ヘ遣ハサルルガ、則チ又御教
誠デアル。俗ニ云フ苦笑ヒト云フモノデアル。此ノ根ノ國ハ、
北方極陰ノ地ヲ指ス。人ノ死ト、極陰ノ地ト、言ハズシテ一ツ
成ルヲ察スルガ、神書ノ妙デアル。

一書曰。伊弉諾尊拔劍斬軻遇突智爲三段。

上ノ或説ニモ段々説カルル通り、陰神伊弉冊尊軻遇突智ノ
一氣ノタメニ崩御ナサルルニ依テ、伊弉諾尊御哀傷ニ深ク
沈マセ玉フ事ヲ御説キナサレ、其ノ悲シミ極マレバ、怒リ生ズ
ルガ、自然デアル。悲シミ至極スル處ハ、誠デアル。誠ヨリ生ズル

(其七)

怒リハ即チ土生金ニシテ、其ノ怒リ又至極スレバ、悲シミニ移
ル。コレ自然ノ理デアル。軻遇突智ヲ斬ツテ三段ニ爲ストアル。
此ノ斬ルト云フ處ニ、其ノ怒リノ情ヲ御説キナサルル事、上ニ
テ述ブル如シ。怒リハ金氣デアル。其ノ金氣ノ縁ヨリシテ又天
理ヲ御説キナサレ、天理ヲ説ケバ、又人情ヲ御説キナサレテ、渾
沌未分ノ一理道体ノ金氣ヨリ天地人三オト成ル事ヲ御説キ
ナサルルノデアル。コレ即チ神書ノ習ヒニテ、今日人ノ上ヲ説
カルレバ、其ノ縁ヨリ天理ヲ説キ、天人一理ノ理リヲ、道体ヘ歸
ツテ曉シ玉フ。斯様ノ處ハ、傳ナケレバ分ラヌノデアル。先段ニ
ハ『三段ニ爲ス。此レ各神トナルト』計リ舉ゲラレテ、三段ノ神ノ
事ハ漏シテ、此ノ段ニ舉ゲラレ玉フ。

○三段トハ、天地人三オノ靈氣ヲ指ス。渾沌未分ノ處ニ於テ、

初メテ三才ノ開クル理リヲ「三段ニ爲ス」ト説カセラレタノデア
ル。劔ヲ抜クトアルハ、寂然不動ノ本然ニ於テ、天地ト開クヘ
キ金氣ノ立ツ處ヲ申サレタノデ、軻遇突智ノ一氣ヨリ三才ニ
分ルル理リヲ説カレシモノデア
ル。

其一。一段是爲雷神。

右ニ述ブル如ク、道体ノ金氣ヨリ開ケテ、天地人ノ三才ト成ル
事ヲ舉ゲラレ玉ヒタノデア
ル。

○雷ハ、天ノ靈ニテ、上天ニ備ハリテ、天地ノ造化ヲナス神デ
アル。垂跡ノ地ハ、山城國賀茂神社デア
ル。

一段是爲大山祇神。

○大山祇ハ、國土主宰ノ靈ニテ、人ノ神靈デア
ル。此ノ山祇ハ、

土德ニ取ルノデア
ル。

一段是爲高靈。

○高靈ハ、龍ノ事デア
ル。地ノ靈地下ニ備ハリテ、天地ノ造化
ヲ助ケ玉フ。龍雷ノ事ハ、奧祕デア
ル。一應ハ、天地開ケテ、天神
ノ妙用ニヨリ、此ノ三神天地ノ造化ヲ助ケテ、天地ノ功用行ハ
ル。今日水無クシテ、五穀ノ苗枯レントスル時、萬人心ヲ和シテ
雨ヲ乞ヒ、誠ヲ以テ祈ル時ハ、雷ノ德ニ依テ雨ヲ降ラシ、土地ヲ
潤ホシテ、萬物ノ造化ヲ助ケラル。然レモ雷ハ水ヲ上グル事ナ
キ故、龍ノ德ニ誘ハレテ水ヲ上グル。龍モ又獨リ水ヲ出ダスニ
アラズ、雷ノ德ニ誘ハレテ、共ニ天地ノ造化ヲ助ケ行ハルルノ
デア
ル。去ル程ニ天地ハ龍雷ノ德ニ依テ立ツノデア
ル。賀茂、
貴船ハ、龍雷ヲ祭ル。道ハ皆天理ヨリ出ヅル故、神明天ニ次デ

道ヲ御立テナサレ、天ニ雷アル如ク、天人一理ノ理リニテ、今日人君上ニ坐マシテ臣ヲ使フニ、其ノ量ヲハカリテ事ヲ命ズ、依テ臣ハ其ノ職ニ居テ、上ニ應ジ、上ヲ輔ク、下ハ又上ノ德ニ化シテ和睦スル、是ヲ以テ天下ハ常ヘニ立ツノデアル、天地ノ立ツモ、山ニハ、山ノ神靈アリ、水ニハ、水ノ神靈アツテ、天地ハ立ツノデアル、依テ天人一致ト悟レバ、皆國常立尊ノ一神ニ歸スルトノ御教ヘデアル、軻遇突智ヲ斬ツテ三段ニ爲スハ、前ハ異説、此ノ一書ハ、本説デアル。

又曰ク、此ノ一書ノ伊弉諾尊ヲバ、同ジ中ニ道体ト見ルノデアル、コレガ神書ノ格相デ、道体ヨリ一氣發動スル處ヲ、斯クノ如ク説カルルノデアル、然ルヲ伊弉諾尊トナゼ申スゾト云ヘバ、天ノ一氣ハ、伊弉諾尊、又伊弉諾尊ハ、天德

ノ全体デアル、▲劔ヲ拔イテ軻遇突智ヲ斬ルトアルハ、一理萬珠ト成ル事ヲ説カルル處デアル、爰ノ劔ハ、目ニハ見エズ、軻遇突智モ、耳目ノ及バザル處デアル、爰ニ形ヲ無キ處ノ劔ヲ探リ知レバ、形ヲ有ル處ノ劔ハ、其ノ儘知ラルルノデアル、軻遇突智ハ即チ陽デアル、一理ヲ以テ一氣ヲ斷チ切ル故ニ、萬珠トハ成ルノデアル、我が國ノ教ヘハ、自然ニシテ、幽冥ヲ曉ス、神書ハ人作ニアラズ、今日ノ通りニ説カルルノデアル、▲三段トハ、三ツニ限ルニアラズ、三ツハ、陽數デ、數限リ無キノ謂ヒ、即チ萬珠ノ事デアル、其ノ大概ヲ云ヘバ、天地人、亦龍雷ト人ト見レバ、三ツニ依ルノデアル、キダハ、(タチキル)ト申ス義デアル、偕龍雷トハ、如何様ノモノゾト云ヘバ、即チ軻遇突智ノ一氣ノ德デアル、龍ヲバ(タツ)共云フ、(タツ)ト云フハ

天地立ツト云フ事。▲雷神ト爲ルトハ、イカニト云ヘバ、一氣ガ一理ニ合シテ、分レテ爲ルトノ事。▲大山祇トハ、大ハ稱美ノ語。山祇ハ、山ニツムト云フ事。此ノ山祇ハ、土德ニ取ル。物形チ有ルモノハ、スベテ皆大山祇ト云フモノデアアル。譬ヘバ塵埃ノ小物ト雖モ、形チナラザルハナシ。又粟稗マデノ物モ、形チデアアル。斯様ナ小物モ、氣ヲ積マネバ、形チトハ成ラレズ。形チ有ル物ノ根元ハ、土デアアル。土地ハ全体皆山デアアル。(ツミ)ハ、氣ヲ積ムニ依リテ云フ。神トハ、山ノ靈ヲ指ス。▲雷ハ、(イカル土)ト云フ事。コレ祕訓デアアル。(イカル)ハ、(氣カル)ノ訓。一氣ノ勢ヒチ借ルト云フ事。然レバ一氣ノ發動デアアル。人事ニ於テ、意念ノタメニ怒ルハ、怒リニアラズ。道体ノ誠ヨリ怒ルガ、怒リト云フモノデアアル。去ル程ニ君子ノ怒リハ、唐土ニモ

『文王一度怒レバ民ヲ安ンズ』トアリ。偕天ニ於テノ怒リハ、四時ヲ以テ云フ時ハ、夏デアアル。陽氣盛ナル處ガ即チ怒リデアアル。去ル程ニ雷モ多ク夏動ズルノデアアル。天ノ化育ヲ行ハルル處ハ、怒リヲ以テ行ハル。人モコレガナケレバ、埒ガアカズ。偕又天地ハ、木氣ノ春ニ開ク。天地開闢ノ始メト、一年一廻ト、一晝夜ト、長短ハアレモ、何レモ木氣ヨリ開クルノデアアル。開クニ至ツテハ、木氣ナラズト云フ事ナシ。木ノ性ハ昇ル。其ノ昇ル處ノ陽氣ガ陰氣ヲツレテ昇セテ、其ノ陰氣ノ降ル時ニ、雨ト成ル。春雨ノ降ルハ、此ノ故デアアル。五月雨ノ降ルハ、春ヨリ陽氣ニ誘ハレテ、ヒタト昇ル處ノ陰、上ニササユル故ニ、降ルノデアアル。五月雨ノ頃降り盡シテハ、益陽氣盛ニシテ、天地ノ間火氣ノミト成ル。火ハ水氣ヲ乾カス。此ノ故ニ雨降

ル事ナシ。人物共ニ、此ノ時ハ、中ニ居ル。火ニ限ラズ、四時共ニ、其ノ時ノ氣、中ニ居ルノデアル。此ノ時ハ、火一ツニ成ル故ニ、人物五穀共ニ焦ケ枯ルルニ至ル。然ルニ天ニ心ハナケレド、天神ト申シ奉ル一靈德御坐マス故ニ、萬珠ノ焦ケ枯ルルヲ氣ノ毒ニ思召スニ依テ、天神ヨリ龍雷ニ命ジ玉ヒテ、雨ヲ降ラシメ玉フノデアル。六月ニハ、陽氣ガ一パイニササユル故ニ、下ヨリ陽ノ昇ル事ヲ得ズ。此ノ故ニ雨降ル事ナシ。然ルニ此ノ時龍雷ノ勢ヒチナス事、天神ノ命ニ依テ、龍ハ水ヲ激シ、雷ノ動ズルハ、先ニ滿ツル處ノ陽氣ト、忽チニ昇ル處ノ一氣ト激スル故ニ、聲ヲ發スルノデアル。但シ龍ニ形チハナシ。然ルニ依テ龍雷ハ無形デアル。夏ニ至ツテ萬珠焦ケ枯ルル處ヲ、龍雷ノ德ニ依リテ立ツ。此ノ故ニ(タツ)ト申スノデア

ル。然レバ大山祇ヤ、海陸ノ萬珠ヤ、共ニ龍雷ノ德ニ依テ立ツノデアアル。其ノ根元ヲ云ヘバ、龍雷ヤ萬珠ハ、軻遇突智ノ一氣ヨリ成ルノデアアル。

又曰、**斬軻遇突智時其血激越染於天八十河中所在五百箇磐而**

○又曰クトハ、或說ノ中ノ又ノ說デアアル。爰ハ、前ノ說ヨリ少シツツ違フ處アリテ、天地人三才ヲ說キ玉ヒ、又萬物ト成ル道理ヲ「天八十河中ニアル五百箇磐石ニ染マル」ト出ダサレタノデアアル。天八十河ハ、一應ハ、天河デアアル。五百ハ、生數磐石ハ、群ガルニテ、多キ事ヲ云フ。今日土地ニ石ノ多クアルハ、石ハ萬物ノ數ニ取ル故、天地ノ間、萬物多キニ比スルノデアアル。「染マル」トア

ルハ『斬ル』トアル縁ヨリ『血』ト出ダサレ、血ノ縁ヨリ染マルト出ダサレ、萬珠火ヲ含ムノ道理ヲ『染マル』ト説カセラレタノデア

又曰ク、五百箇磬石ハ、地上ノ石ノ如ク、天ニアツテハ、星ノ如ク、數限リモナキ事ヲ申シタノデ、其ノ萬珠ハ、根元ノ一氣ヨリ分レタモノデアアル。偕前ニハ『五百箇磬石ト爲ル』トアリ、爰ニハ『染マル』トアル。前ノハ、一氣デ其ノ物ノ出來ル事ヲ説カレ、爰ニハ、一物アレバ一氣ヲ含ム事ヲ『染マル』ト説カル。

因化成神號曰磬裂神次根裂神兒磬筒男

神次磬筒女神兒經津主神

倉稻魂此云宇介能美陀磨少童此云和多都美頭邊此云摩

苦羅陸脚邊此云阿度陸煤火也音而善反覆此云於箇美音力丁反吾夫君此云阿我儼勢滄泉之竈此云譽母都俳遇比秉炬此云多妣不須也凶目汚穢此云伊儼之居梅

積多儼積醜女此云志許賣背揮此云志理幣提爾布俱泉津平坂此云余母都此羅佐可居此云愈磨理音乃弔反絕妻之誓此云許等度岐神此云布那斗能加微楯此云岐阿波

此ノ義モ前ニ述ブル如ク、天、八十河中ニアル五百箇磬石トアル中ニ、萬物ト成ル道理ヲ説キ玉ヒテ、人倫ノ事モ其ノ中ニ籠ル。依テ本ヨリ、經津主命、武甕槌命ノ事モ籠ルノデアアル。爰ニ別ケテ經津主命ノ事ヲ舉ゲラレシハ、上ニ述ブル如ク、此ノ神金氣別ケテ強勇ニ坐マシ、葦原、中津國ヲモ、經津主、武甕槌ニ神ノ金氣ニ依テ御治メ成サレ、天下一統シタル武功アル故ニ、萬物ヲ御説キ成サル中ニ、別ケテ此ノ系圖ヲ舉ゲ玉ヒタノデアアル。尙ホ、磬裂神、根裂神ハ、根元ノ一氣ヨリ金氣ヲ以テ裂ケ出デ、爰ニ陰陽ト別レ、陰陽昇降シテ兩神御出生ナサレタノデア

ル。則チ氣化ノ初メニ歸ツテ、系圖ヲツラル。

(其八)

一書曰。伊弉諾尊、斬軻遇突智命、爲五段。此各化成五山祇。

爰ニ軻遇突智命ト出ヅルハ、一書ノ違ヒデアアル。

○五段トハ、前ノ一書ニ述ブル如ク、金氣ノ縁ヨリ道体ノ一理ニ歸リテ、五行相生シテ天地人ノ三才ト成ルト説キ、神人一理ニ悟ル事ヲ籠メテ説カセラレ、即チ一理ヨリ五行ト成ル事ヲ説キ玉ヒ、五ノ數ヲ「五段ニ爲ス」ト擧ゲラレ、天地渾沌未分ヨリ開クルト、天ニ五星備ハリ、地ニ五行備ハツテ、天地成就スルノデアアル。天人合一ノ理リデ、人ノ一体ハ、五体、五臟ヲ備ヘテ成就スレバ、國土ヲ人ノ五体ニ寄セテ御説キナサレタノデアアル。

コレ天地不言ノ言ノ御教ヘデアアル。○山祇ハ、土地ノ靈氣ヲ指ス。

又曰ク、此ノ段ノ伊弉諾尊ヲバ、天神ト見ルノデアアル。前段ニハ「軻遇突智ヲ斬ツテ三段ニ爲ス」ト出ダシ、爰ニハ「五段ニ爲ス」トアリ。前ニハ、渾沌ノ一氣ヨリ三才ト分ルト説カレ、此ノ段ニハ、土地ヲ得ルヲ、人ノ五体ニ寄セテ説カル。土ハ即チ萬物ノ母ナレバ、萬物ノ本ヲ説ガレシモノデアアル。偕爰ニ「劔」ト云フ事ハ無ケレ。凡、斬ルト云フ間ニ持タセテアル。▲五ツノ山祇トナルトハ、形チ有ルモノハ、皆山祇デアアル。形チハ氣ヲツミテ成ルトハ、前段ニモ述ブル如シ。一人ノ全体ガ山祇ジヤケレ。凡、處々ニツニツノ用ガ違フ故ニ、一体ヲ五ツニ分ゲテ「五ツノ山祇トナル」ト下サレタノデアアル。譬ヘバ

左リハ左リ、右ハ右ニテ、左リハ右ノ用ヲ奪ハズ。然レバ事物ニ於テ、一物一物ニ用アリ。道理ヲ知レバ、奪フ事ヲナサズ。一人ノ人ノ上ニ於テモ、斯クノ如クニシテ用フル事ゾ、則チ五ツガ積ンデ人トナルノデアアル。

一則首化爲大山祇。

前ノ一書ニハ、萬珠ヲ統ベテ、大山祇ト説カレ、爰ニハ、頭ヲテ大山祇ト説カセラル。依テ此ノ書ハ、物毎傳ナクテハ、曉ス事ガナラヌノデアアル。偕頭ヲテナゼ大山祇ト云フゾトナレバ、頭ヲハ、一身ノ上ニアツテ、天ニ取ル。此ノ故ニ『大山祇』トアリ。人ハ、天ノ通りニ得タモノデアアル。物ノ如キハ、變ニ得ル故ニ、毛物ハ横邪ノ氣ヲ得テ横ニ走り、鳥ハ陽邪ノ氣ヲ得テ飛ビ、虫ハ陰邪ノ氣ヲ得テ地ニ動ク。人ハ天地一般ナル故ニ、首ヲニ七穴ヲ具ヘ、兩

眼ヲ日月ニ取り、殘ル五穴ヲ五星ニ取りテ、全ク天ノ如シ。天ハ大キク、人ノ頭ヲハ小サク見ユ。天モ、左右、前後皆天ナレ。凡、形チニ依ラヌモノナレバ、地ニ載スル氣味ニテ、上ニ位シテ貴シ。人ノ頭ヲモ、一身ノ上ニ位シテ、而モ天ニ象レバ、小物ナレ。凡、道理ニ基キ見レバ、大イナルモノデアアル。其ノ上形チ無キハ、形チ有ルヨリ貴シ。然レバ形チ無キ處ノ天ニ象ル故、貴イノデアアル。

二則身中化爲中山祇。

○身中トハ、人ノ胴デアアル。人ノ胴ハ、形チノ中央ニアル故、中山祇ト下サレシ。(ムクロ)ハ、(フクロ)ニテ、袋ハ物ヲ入ルル物ナレバ、我ガ(ムクロ)モ、五臟ヲ備フルト、袋ニ物ヲ入レシ如クデアアル。故ニ(ムクロ)トハ申スノデアアル。又小社ヲ(ホコラ)ト云フ。(フ)ト(ホ)ト、(ク)ト(コ)ト、(ロ)ト(ラ)ト五音相通ジテ(ホコラ)ト云フハ、火ヲツツ

ミタル庫ト云フ意デアル。一靈ヲ封ズル故ニ、(フクラ) (ホクラ)ト云フ謂ヒデアル。

又曰ク、ムクロトハ、身ノ中ト書キテ、胴デアル。胴ハ一身ノ中心火ノアル處デアル。偕心ノ用チナシ、心ノ徳ノ顯ハルル事ハ、頭ラニ顯ハルル。然レバ大山祇ヲ貴バネバナラズ、中山祇トハ、真ン中ニ軻遇突智ノ一氣ノ積ンダ處ガ、中山祇デアル。偕又天ニ就イテモ、萬國ノ出來様、人ノ形チノ通りデアアル。

三則手化爲麓山祇。

○麓ハ、端ト云フ意。○手ハ、(イデル)ノ訓、手ハ身ノ端ニ出デタモノ、山モ端山ハ、出デタモノデアアル。此ノ故ニ、手ヲ麓山祇ト説ガルルノデアアル。

四則腰化爲正勝山祇。

○腰ハ、(コス)ノ訓。此處ヨリ彼處ヘ越スト云フ意。○正ハ、(マサニト)云フ意デアアル。○勝ハ、(スグル)意、一身ノ中ニテ、腰ハ肝要ナ處デアアル。五体動靜スルハ、皆腰ヨリナス。然レバ五体ノ中、腰ハ即チ一身ノタバ子デアアル。手足ノ如ク用ハ見エネ、腰ヲ以テデナケレバ、一身ガ立タヌノデアアル。人モ金氣即チ勇氣ナク、義ヲ欠クニ於テハ、コレヲ腰拔ケト云フゾ。

五則足化爲雉山祇。

○雉ハ、敷ク意、足ハ、地ニ敷ク故デアアル。人ノ足ハ、フミシク故ニ「雉山祇」ト云フ。亦地ニ於テモ、種々ノ姿アリ、谷アリ。地ヲ人ノ形チニシテ見レバ、陸地ハ、雉山祇ト云フベキデアアル。何レモ皆

其ノ縁ニ因テ名付ケラレタノデ、畢竟渾沌タルモノヨリ、土地ノ生シタル所以ヲ説キ明サレタノデアアル。

是時斬血激灑染於石礫樹草

○斬ル血トハ、『軻遇突智ヲ斬ツテ三段ニ爲ス』ト云フ縁ヨリ出ダサレタノデアアル。

○石礫ハ、萬物ニ係ル。前ニ『五百箇磐石』トアルト同ジ道理ニテ、一理ヨリ萬物ト成ル事ヲ説カセラレタノデアアル。

又曰ク、石礫樹草ニ染マルトアルハ、限リナキ萬珠軻遇突智デ出來テ、軻遇突智ヲ含ム道理ヲ説カレシモノデアアル。人ニ毛髮アル如ク、海陸山川草木砂礫ナキ處ナク、一草一木共ニ、一氣ヲ含マヌト云フ事ナシ。此ノ一氣ヲバ、誰ガ含マスルゾト云ヘバ、神通妙ヲ以テ含マシムルノデアアル。前ニ含ムト

説ケルハ、陰陽結ブヲ云フ。爰ハ、一氣ヲ含ム事ヲ説カルルノデアアル。此ノ一氣ト云フニ、未生ノ一氣、已生ノ一氣ト云フガアル。學者深ク察スベキデアアル。

此草木沙石自含火之縁也

萬物形チ有ルモノハ、皆木ニ屬シ、木生火ト、萬物自ラ天ノ陽火ノ徳ヲ備ヘズト云フ事ナキ理リデアアル。萬物皆火ヲ含ムト云フハ、陽徳ヲ備フルト云フ縁ヲ以テ説キ玉フ事デ、其ノ縁ニ因テ説クハ、例ノ和書ノ風デアアル。血チ一元水ニシテ説キ、又火氣ニシテ説クナド、實ニ豁達自在ノ説キ法デアアル。

麓山一足曰麓此云麓耶磨正勝此云麻沙柯
多一云麻左柯豆此云之伎音鳥含反

コレハ、字訓マデノ事デアアル。『一云麻左柯豆』ノ六字、家ノ本書ニ

ハ無ク、江家ノ本ニコレアリ。

一書曰。伊弉諾尊欲見其妹。乃到殯歛之處。

(其九)

○イロトハ、(イモト)ト通ジテ、妻ノ事ヲ云フ。

○殯歛之處トハ、文字ノ通り(カリモガリ)凡讀ム。即チ御體ヲ歛ムル處デアアル。前ニ述ブル如ク、御哀傷ニ深ク御沉ミアルヨリ、伊弉冊尊ヲ御覽ナサレント思召シ、殯歛ノ處マデ慕ヒ到ラセ玉ヒタノデ、御死別トナレバ、再ビ逢ハセラルル事モナク、何事モ夢ト成リ行ク處ヲ切りニ悲シウ思召シ、御忍ビナサレ兼テ、殯歛ノ處ヘ行キ、トムラハセラレ玉ヒタノデアアル。▲俊成卿、妻ニヲクレテ、墓所ヘ參ラレシ時ノ歌ニ、

稀に來て夜半も悲しき松風を

たねすや苔の下に聞くらん

トアツテ、常ニハ何心ナク聞ク松風モ、我レニ哀情ノアル時ハ、骨髓ニシミテ、感情ヲ發シ、草木ヲ見テモ、物悲シク、泪ヲ催スモノデアアル。死別ノ哀情ハ、伊弉諾尊モ、今日ノ人情モ、同ジ事デアアル。

是時伊弉冊尊猶如生平出迎共語。

前段ニ『黃泉ニ入りマシテ共ニ語ルニ及ボシキト』アルニ同ジ。伊弉諾尊御哀傷ニ御沉ミナサレ、伊弉冊尊ノ事ヲ深ク悲シミ玉フ御心ヨリ、伊弉冊尊御在世ノ如ク、御物語ナサルト思召サレタノデアアル。斯様ノ處ハ、平生ノ性ヨリ見テハ、窺ヒ難シ。悉情ノ餘リニハ、亡者ノ容チヲモ見ル様ニ覺ユルモノデアアル。亡者ト共ニ語ルガ如キ事、古今多ク有ル事デアアル。○出デ迎テ共ニ語ルトハ、御出迎ヒナサレテ、御存生ノ時ノ

如ク、御物語ナサルルト思召サレタノデアアル。

己ニシテ而カケテ謂伊弉諾尊曰ハクアガ吾夫君尊ナ請勿ナ視吾矣ヲ。

コレハ、共ニ語り玉フトアル御物語ノ内デアアル。ナセハ、(セナ)ト同ジニテ、夫ノ事ヲ云フ。前段ノ「勿視ゾ」ト云フ處ニ寄セテ見ル處デアアル。モハヤ寢ヤスミマスル程ニ、夫君尊必ズ我ガ寢姿ヲ御覽ナサレナト仰セララルル意ヲ、御舉ゲナサレタノデアアル。

言訖ノモヒ忽然ナハツク不見ク于ニ時闇也ト。

爰ハ、事理ヘカケテ見ルノデアアル。

○言ヒ訖ツテトハ、御物語モ終リ、時ニ日モ暮レ闇夜ニナレバ、伊弉册尊モ見エ玉ハヌトノ意味ト、伊弉諾尊至極御悲シミノ御心ヨリ、闇然ト成リ玉ヒ、陰暗ニ御沉ミナサルル處ト

ヲ兼テ、斯クノ如ク舉ゲラレ玉ヒタノデアアル。

伊弉諾尊乃舉チトホシテ一片之火ヒ而視之シ。時伊弉册尊ニ脹滿タマ太高ト。

爰モ、事理ヘカケテ見ルノデアアル。請フ吾レヲ勿視ゾトアルヨリ、御姿モ見エ玉ハ子バ、猶ホイブカシウ思召シ、跡ヲ慕ヒテ御覽アルニ、伊弉册尊爛穢ノ御姿ト成ラセラレシトノ事、爰ハ、事ノ上デアアル。理ノ上ニテハ、陰極マレバ陽生ズル理リニテ、迷ヒモ至極スレバ、悟リニ赴クノデアアル。故ニ斯クノ如ク、御迷ヒノ至極ノ處ヨリ、一燈程ノ悟リニ御基キナサレタノデアアル。其ノ基キ玉フ御心ヨリ見レバ、伊弉册尊ハ、イツシカ爛穢ノ不淨ノ御姿ト成ラセ玉フ。「脹滿太高」ノ四字ハ、御讀ミノ時ハ、讀マ

ズトアツテ、天子ノ御前ニ於テハ、讀マザル掟デアアル。

上有八色雷公。

雷ノ事ハ、前ニ述ブル如ク、口訣デアアル。

○八色ノ雷公トハ、天地ハ八方ニ備ハル。雷ハ、一應ハ、天ノ怒リデアアル。爰ニ、爛穢ノ御姿ヲ見玉フト説カセラルルハ、御悟リニ基キ玉フ一燈ノ光リヲ以テ御覽アレバ、斯クノ如ク不淨ノ体ト成リ玉フニ依テ、モハヤ思ヒ切ラント思召セ凡、御在世ナラバ、斯クノ如キ姿ヲ忍ビテ御覽アラバ、如何バカリ御恨ミアラン、御覽アルマジキ處ヲ御覽アレバ、定メテ耻ヂ怒ラセ玉フベシト、伊弉册尊ノ御怒リニ移シテ、御心頭ノ御念慮ヲ直グニ天理ニカケテ説カレ玉ヒタノデ、御念慮ノ悟リヨリ又、怒ルベシト思召ス念慮ノ上ニ八色ノ雷アリト、御説キナサレタノデアアル。

デアアル。

伊弉諾尊驚而走還。

伊弉諾尊大イニ迷ヘリト自ラ思召スヨリ、本分ノ心地へ逃ゲ歸ラセラルル處ヲ、驚キテ走ゲ還リ玉フト下サレタノデアアル。

是時雷等皆起追來。

一燈ノ御悟リノ生ズル處ヨリ、御念慮ニ、迷ヒテ去ラント御逃ゲナサルレ凡、至ツテ深キ御念慮ナレバ、物アツテ跡ヨリ追フ如ク、御念慮ノ追ヒ來ル事ヲ「雷等皆起チテ追ヒ來ル」ト御説キナサレタノデ、前ニ醜女ノ追ヒ留ムルト同ジ意デアアル。

時道邊有大桃樹。故伊弉諾尊隱其樹下。因探其實以擲雷者。雷等皆退走矣。

此ノ桃ニハ、別ニ意味ナシ。殞歟へ成ラセラレ、立チ歸リ玉ハン
ト思召サレシ道路ニ桃ノ木アリシトノ事。初メテ悟リニ基キ
玉ヒ、コレハ誤リト思召セ、又復御念慮ノ追フ處ヨリ、雷モ彌
々追ヒ來ル如ク思召サルルノデアアル。然レ、爰ニテ本然平坂
ヲ御悟リナサレ、本然ニ歸リテ、其ノ道路ノ木ノ實ヲ以テ事理
ヲ調ヘ、事ヲ備ヘテ祓ヒ玉ヘバ、御念慮ハ即チ絶エテ、追ヒ來ル
モノハナイノデアアル。事理ヲ調ヘ玉ヒ、御念慮ヲ祓ヒ玉フヨリ、
御念頭ヲ離レテ忘レ玉フヲ、斯クノ如ク説カレ玉ヒタノデア
ル。

此用桃避鬼之緣也。

コレヨリ後世桃ヲ以テ邪氣ヲ防ク事ト成レリト、異國ノ書ニ
モ、桃ヲ以テ邪氣ヲ防グ事アツテ、桃ニ別シテ貴キ譯アリトテ、

寸法マデ出テ居ルガ、此ノ方デハ、サシテ桃ニナヅミテ見ヌノ
デアアル。念慮ヲ祓フハ、アレニアツテ、其ノ事ハ、折節當然ニア
ル。桃ノ實ヲ採ツテ、念慮ヲ祓フ事相ニ投ゲタマデアアル。尤モ貴
ブ時ハ、何事ニモ靈氣備ハルモノデ、開闢神明ノ德ヲ以テ惡氣
ヲ祓ヒ玉フ處ヨリ、自ラ桃ニ貴ブ靈氣備ハリ、桃ヲ以テ鬼ヲ防
グ因縁トハ成レルノデアアル。

時伊弉諾尊乃投其杖曰自此以還雷不敢
來。是謂岐神。此本號曰來名戶之祖神焉。

陰暗ノ地へ二度赴クマジトアル思召シヨリ、彌々其ノ御杖マ
デモ投ゲサセ玉フ。コレハ、御念慮ノツイテ來ルナト云フ意ニ
テ、陰處ニ御用井ナサレシ杖ヲ御投ゲナサレタノデアアル。コレ

即チ祓ヒニテ、モハヤ情念ニ引キ落サレマジトアル事相デア
ル。

○此ノ本ノ號ヲバ來名戸之祖神ト曰フトハ、(フナド)(來名戸
ハ、(フ)ト(ク)ト音通ジテ、同ジ意デア(クナド)ハ、(クルナ)ト云フ意。
▲祖神ハ、稱美ノ語。是ニ於テ御心中体ニ御スワリナサルル故、
尊ンデ『祖神』ト號ケ玉フノデアアル。

所謂八雷者在首曰大雷。

上ニ、伊弉册尊ノ怒リヲ「八色ノ雷公アリ」ト御説キナサレ、其
ノ事ヲ爰ニ又天理ニ歸ツテ、雷ノ天地八方ニ備ハル道理ヲ説
キ示サル。雷ハ、天ノ怒リデアアル。其ノ理ハ、天地八方ニ備ハリテ、
天地造化ノ功用ヲ助クルニアリテ、天地ニ備ハル道理ヲ、一人
ニ備ハル形チニカケテ説カレ玉ヒタノデアアル。首ラハ、天ニ象

ル。天ハ大イナルガ故ニ「大雷」ト云フ。

在胸曰火雷。

○胸ハ、心臓ニテ、火ニ屬ス。故ニ「火ノ雷」ト云フ。

在腹曰土雷。

○脾胃ハ、五臟ヲ兼腹ニアリ、土ヲ主ル故ニ「土ノ怒ツチ」ト云フ。

在背曰稚雷。

○ソビラハ、背デアアル。一身ニテハ、背ハ北ニ配ス。北ハ一陽ノ
運リ始マル處デアアル。陽ノ若ク生ズル理リ故ニ「稚雷」ト云フ。

在尻曰黑雷。

○カクレハ、一身ノ陰處デアアル。陰ハ黒キ形チナレバ、黒キ縁
ヲ以テ「黒雷」ト云フ。

在手曰山雷。

○手ハ、一身ヨリ差出デタルモノニテ、天地デ云ヘバ、土地ニ山ノアルト同ジ理ナレバ『山雷』ト云フ。

在足上曰野雷。

○野ハ、平ラカナ形チデアアル。人ノ足モ、手ヨリ見レバ、形チ平ラカナル故ニ『野雷』ト云フ。

在陰上曰裂雷。

○ホドハ、陰處デアアル。コレヨリ子チ生ジテ子孫相續ス。

○裂クハ、(サクル)意、出産ハ裂クル意デアアル。此ノ故ニ『裂雷』ト云フ。神書ハ縁ニ因テ説カルル事スヘテ斯クノ如シ。天地八方ニ雷アル事チ、天人一致ノ理リヲ以テ、人ノ五体ニ寄セテ、斯ク

ノ如クニ説カレ玉ヒタノデアアル。

(其十)

一書曰伊弉諾尊追至伊弉册尊所在處。

段々前ニ述ブル如ク、御夫婦ノ哀情忘レ難ク、慕ヒ悲シマセラ

ルル理リヲ記サレ玉フ。
○追フテ伊弉册尊ノ所在處ニ至リマシテトハ、彼ノ『カリモガリ』ノ邊マデ御出デアツテ、伊弉册尊ニ御逢ヒナサレント思召ス時チ、斯クノ如ク説カセラレ玉ヒタノデアアル。

便語之曰悲汝故來。

御在世ノ如ク御物語アツテ、我レ獨リ捨テ行ク故ニ、悲シミ絶エズ、コレマデ來リシト、コレ御心ノ上ノ自問自答デアアル。

答曰族也勿看吾矣。

○ウカラトハ、(疎キカラ)ト云フ事ニテ、親シミノ詞デアル。夫婦ハ元他人ノ疎キヨリ親シウナルガ故ニ(ウカラ)ト云フ。(ヤカラ)ト云フハ、(親カラ)ト云フ義ニテ、親カラ續キテ、血脉一貫ナル故ニ(ヤカラ)ト云フ。

○勿看ゾトハ、平日ノ事ヲ思召シ出ダサレテ、御存生ナラバ、斯様ニ仰セラリヤウモノヲトノ事。

伊弉諾尊不從猶看之。

時ニ迷ヒヨリ迷ヒニ入ラセラレ玉フ故、止マズシテ御覽成サレタノデアル。然レ斥情ヲ異ニシテハ、止マズ御覽モアルヘキ事ト思フ。伊弉册尊ニシテハ、女ハ形ヲ主トスル故ニ、耻ツルガ自然デアル。男ハ心ヲ主トシテ形ヲ依ラズ。コレ情ヲ異ニスル所以デアル。其ノ上夫婦程親シキモノナク、御覽成サレ

タウ思召スヘキ事デアル。

故伊弉册尊耻恨之日。汝已見我情。我復見汝情。時伊弉諾尊亦慚焉。

爰ハ前ノ御文ト違ヘ斥、ヤハリ御心ノ上ノ自問自答デアル。此ノ時、伊弉諾尊ノ御心ニアル事ヲ、自問自答デ御念慮ノ上ニ御言葉ヲ立テテ説カレ玉フ。伊弉諾尊ノ見サセラレマジキ爛壞ノ御姿ヲ御覽アレバ、伊弉諾尊ノ御心ニ、伊弉册尊御存生ナラバ、定メテ耻ヂ恨ミテ、我が穢ラハシキ体ヲ御覽ナサルルナト、御恨ミアラント、御身ニカケテ思召シ玉ヘルノデアル。然レバ、斯様ノ体マデヲ御覽ナサル程慕ヒ玉フハ、我が迷ヒカモ知レヌト、伊弉諾尊ノ思召スヲ「我レ復汝シガ情ヲ見ル」トアツテ、自ラ省ミル意デアル。伊弉册尊又、伊弉諾尊ノ

御心ヲ見ルトアルハ、即チ我が本心ヲ 伊弉册尊ニ知ラルル
ト申ス事ニテ、爰ガヤハリ自問自答ノ心頭デアアル。誠ニ 伊弉
諾尊我が心ノ迷ヒノ穢レヲ見ラルルト思召シ、コレヲ耻ヅカ
シト立チ歸リ玉フ体デアアル。爰ニ心ト云フニ情ノ字ヲ置カレ
玉フハ、情ハ、性ノ動キデアアル。性ハ、寂然トシテ動カズ、無心ノ處
デアアル。性物ニ感ジテ情ト成リ、今日日用ノ萬事ハ、皆情ニテ行
フ。情モ、性ヨリ動イテ物ニ應ズ。初メハ性ノ儘ニシテ、正シイノ
デアアル。情ヨリ情ニ轉ズル處デ、人欲ニ亘リ、ソレデ情ト云フモ
ノニハ汚レアルノデアアル。爰ヲ以テ「汝シ己ニ我が情ヲ見ツ」ト
アリ。伊弉册尊ノ仰セニ、我が不淨ヲ見顯ハシ玉フ程ニ、我レ
モ又汝シ尊ノ情ヲ見ルトアリシ。凡ソ人ト云フモノハ、大賢ト
雖、凡情ニハ人欲ヲ免カレズ。念慮ノ上ニハ、様々汚ハシキ事ヲ

思ヘ凡、コレハ人欲ノタメト、戒メ慎ミテ、行ヒニ顯ハサヌ事肝
要デアアル。只情ノ儘ニ行ハバ、禽獸ニ等シイノデアアル。伊弉諾
尊迷ヒニ汚レシ御心ヲ、アナタヘカケテ御覽ナサレテ、自ラ耻
ヅカシト省ミ玉フ。コレハ皆心頭ノ御教ヘニテ、日用己レヲ省
ミ、我が心ニ起ル情欲ヲ耻ヂネバナラヌゾトノ御教ヘデアアル。
耻ヂヲ知ルハ義デアアル。今日我が心ノ妄念ニ心ヲ置カズ、人ノ
身ノ上ノミヲ改ムルガ、人情デアアル。人ヲ改ムル心アラバ、我レ
ニ立チ歸ツテ見ヨトノ御誠メデアアル。

因將出返

伊弉諾尊ノ御心ニ、我レ深ク迷フ。此ノ故ニ、此處へ至ルト思召
シ、御立チ歸リナサルノデアアル。即チ迷ヒト知ロシ食サレテ、
御本心ニ立チ歸リ玉フ處デアアル。迷ヒト知ラザル時ハ、闇夜ノ

如ク、一寸先モ見エズ。

于時不直默歸而盟之日族離又曰不負於族。

○モダサズトハ、(モノ云ヒ出サズ)ノ謂ヒ、猶豫セヌ事デアアル。暫クモ猶豫無ク、本心ニ御立チ歸リナサレシヨリ、誓ヒテ御立テナサルルノデアアル。

○族ラ離レナントハ、(ウカラハ、伊弉册尊ヲ云フ。前ニ述ブル如ク、親シミノ詞デアアル。畢竟御夫婦ノ御親ミノ愛着ヨリ、斯様ニ御迷ヒナサルルノデアレバ、其ノ愛着ヲ御離レナサレントノ義デアアル。前ニ一度離レント思召シ玉ヒシカ尺、雷追ヒ來ル如クノ念慮ニ引カレ玉ヒシ故ニ、此ノ上ハ、二度迷フマジト

思召ス誓ヒノ御詞デアアル。斯様ノ事ハ、今日常ニ受用セテ子バナラヌノデアアル。善ヲ善ト知り、惡ヲ惡ト知ルハ、本心ナレ尺、曲ゲテ情念ニ引キ落サルル時ハ、善惡差別無キニ至ル。伊弉諾尊ノ御念頭ノミニ限ラズ、人情我が一己ノ上ニアル事デ、爰ヲ受用セヨト、神明ノ、不言ノ言ノ御教ヘデアアル。

乃所唾之神號曰速玉之男。

伊弉諾尊御哀傷ニ深ク御沉ミナサレシヨリ、幾度カ悲シミノ情其ノ極ニ至ラセ玉ヘルノデアアル。御哀情ニ引カレ玉フ御心陽明ニ基キナサルルカトスレバ、又陰闇ニ御入りナサレ玉フ。然レ尺神明ニ坐マス故、迷ヒテ自ラ知ロシ食シテ、二度陰闇ヘ引キ落サレマジト思召ス處ヲ『族ラ離レナン』又ノ玉ハク、族ラニ負ケジト御説キナサレ、乃チ所唾ク神ヲ號ケテ速玉之男ト

曰ス下下サル。唾キハ、不淨ヲ祓フ事相デアアル。今日不淨ヲ見レバ、唾ヲスル。コレ自然ノ祓ヒデアアル。速ハ、頓速ノ意。玉ハ、天德清淨ヲ意味ス。男ハ、陽德デアアル。御念頭ヲ御祓ヒナサレテ、速ニ天理ニ御立チ歸リナサレ、天理當然ノ御德ニ至リ玉フ處ヲ申スノデアアル。

次掃之神號泉津事解之男。凡一神矣。

○事解之男。事ハ、迷ヒノ事デアアル。解ハ、(サク)ニテ、即チ(サキホドク)事。男ハ、陽德デアアル。一旦ノ念ハ、唾ヲ吐キテ祓ヘ、心ニ深ク結ボウル念慮ハ、道理ヲ以テ漸々シテ解キ祓ハ子バ、解キ難シ。暫ク一方ヲ祓フト雖、全体ノ結ボウレヲ解キ祓ハザレバ、又結ボウル。其ノ事ヲ「泉津事解之男」ト出ダサレシ。太陰、太陽ノ祓ヒモ、コレヲ本トス。則チ此ノ二神ノ德ヲ、熊野三山ノ相殿ニ

祭ラレタノデアアル。熊野三山ノ義ハ、社家ノ傳ト、本家ノ傳トハ、神体ニ相違アリ。古書ニ結ブ神ト申ス事アリ。熊野ニモ、結ブ神ト云フハ、解ク處ニハ、結ブ處アリ。故ニ即チ事解之男ノ義デアアル。平家物語ニ、康賴ノ祝詞中「結速玉男」トアルモ、即チ事解之男ノ事デアアル。熊野三山、社家ノ傳ハ、新宮ハ、速玉男、那智ハ、事解男ト云フ。本家正統ノ説ニハ、三山共ニ、本社ハ、伊弉册尊、左右相殿、即チ左リニ速玉之男、右ニ事解之男ト云フ傳デアアル。本宮、新宮、那智共ニ同ジ。○凡テ二柱ノ神マス。トハ、相聞エシ通り。

及其與妹相鬪於泉平坂也。

○泉ツ平坂トハ、前ノ泉津ノ決語ニモ出ヅル通り、別ニ泉津平坂ト云フ處アルニアラズ、伊弉諾尊ノ語りノ場ニ至ラセラルル處ヲ申スノデアアル。

○相鬪フトハ、念頭ノ上ニ兩人アツテ、相鬪フ如シトノ意義
デアアル。

伊弉諾尊曰始爲族悲及思哀者。是吾之怯
矣。

○族ラトハ、前ニモ述ブル通り、伊弉册尊ノ御事ニテ、即チ
妻ノ義ヲ申スノデアアル。則チ夫ノ方ヨリモ、妻ノ方ヨリモ申ス
事アリ。我が迷ヒヨリ陰闇ニ陷井リ、斯様ニ悲シミ忍ブ事ハ、我
ガ誤リノツタナキト、自問自答デアアル。

時泉守道者白云有言矣。

コレモ、自問自答デアアル。

○泉ツ守道者トハ、別ニ其ノ人アルニアラズ、御念慮ノ上チ

申シタノデアアル。守道ハ、泉津ノ道ヲ守ル意、泉津ニ就イテ、此ノ
名義ヲ立テラルルノデアアル。陽明ニ立チ歸ラントスル處ヲ、守
道者ノ、又陰暗ヘ引キ入レントスル處ナレバ、伊弉册尊ノ從
者ト見テ説カネバナラズ、悟リニ基キ玉フ處デ又、伊弉册尊
ヨリ仰セ遣ハサルルノデアアル。

又曰ク、白シテ云サクトハ、伊弉册尊ノ御使者ニ守道者
ガ參ツタ様ニ説キナシタモノデアアル。

曰吾與汝已生國矣。奈何更求生乎。吾則當
留此國不可共去。

伊弉諾尊ノ御念頭ノ上チ、又陰闇ヘ引キ入ル御詞ニ設ケテ説
キ玉フ。既ニ立チ歸ラント思召セバ、又斯様ニ陰闇ヘ引キ入レ

ントナサルル此ノ處ヲ守道ニ設ケテ言葉ヲ立テ玉ヒタノデ、
伊弉諾尊御悲シミノ思召シニ初メ御夫婦共ニ氣化シ玉ヒ
テ大八洲ノ國ヲ生ジ國土ノ功用モ御成就ナサレ殊ニ一女三
男ノ御子ヲ御産ミナサレテ天下相續ノ義モ成就シ御功用盡
キテ伊弉册尊崩御ナサルル事ナレバ如何ンゾ我レ一人ノ
ミ生キ残りテ居ラルベキト思召ス御心頭ノ陰闇ヘ引キ入ル
處ヲ直グニ伊弉册尊ノ御詞ニナサレテ斯クノ如クニ説カ
レ玉ヒタノデアアル皆御念慮ノ上ノ義デアアル今日人情ノ上ニ
於テ常ニアル事デ妻或ハ愛妾ナドニ別レテ悲シミノ極終ニ
今日ヲ忘レ己ガ家業ヲ捨テテ出家遁世ノ身ト成リ家ヲ失ヒ
テ從類ニ歎キヲ掛クルハ今日多ク有ル事デ即チ此ノ處ノ場
デアアル我ガ道ノ修行ハ常ニ天命ヲ安ク行ヒ哀傷ニ溺レント

スル事アリ凡其ノ念慮ニ克チ心ヲ堅固ニ持チテ其ノ天命ヲ
全ウ守リ勤ムルト云フガ我ガ道ノ肝要ニシテ我ガ教ヘノ尊
キ所以デアアル幾度モ速玉之男ノ太陰太陽ノ祓ヒヲ以テ其ノ
念頭ヲ祓ヒ天命ヲ全ウ勤メ終ル處コレ道ノ肝要トスル場デ
アル神明ノ御行ヒヲ直チニ顯ハシ置カセラルル處デ今日人
情ノ御教ヘトナサルル事デアアル。

是時菊理媛神亦有白事。

○菊理媛ハ陽神ノ御召シ使ヒニテ陰神ノ斯様ニ陰闇ヘ引
キ入レントスル處ヲ屹ト陽明ノ場ヘククリ留ムル神デアアル
泉ツ守道ノ申ス事ヲ陽明ノククリ媛ガヂツトククリ留ムル
ニ付共ニ死スベシト思召ス念慮ヲ至極ノ迷ヒト御悟リナサ
レテ爰ニ御心ヲ決セラレ陰闇ヘ誘フ處ヲ斯クノ如ク留マリ

玉フノデアル。

又曰ク。菊理媛神白ス事有リトハ、和書ノ格ニテ、此ノ故ニ情ノ厚キ意味アルノデアル。其ノ上泉ツ守道者ハ、陰ノ靈ナレバ、陰ハ形チニ屬スル故、詞ニ及ベ、凡、菊理媛ハ、陽ノ靈ナレバ、詞ハ無キ道理デアル。爰ガ學者ノ力次第ニ見ル所、僭爰ニ『菊理媛神白ス事有リ』トアツテ、次ニ『伊弉諾尊ホメ玉フ』トアルニ、其ノ菊理媛ノ詞ハ、何共出テ居ラヌノデアル。斯クノ如ク詞無キ處ニ、菊理媛ノ返答ヲ探リテ申セバ、夫婦ハ一体ト雖、凡、男神ハ男神、女神ハ女神ノ天命アル事ナレバ、其ノ天命ヲ待タズシテ死スルハ道ニアラズトノ答ガ、明カニ見ユルノデアル。尙ホ菊理媛ノ御名義ニ就キテ(キク)ト云フ字ヲ置カレテアルガ、今(キク)ト云フハ音デ、本訓ハ(ククリ花)ト申

スノデアナルゼククルト云ヘバ、陽善ニククリトムル意デア。ル歌ニ今(キク)トハ詠メ、凡、訓ハノラヌノデアル。僭陽靈ノククリドメナラバ、ククリ彦共云フヘキニ、何故媛ト申スゾト云ヘバ、陽善ニシテククリトムルト云フモノハ、チツト沈ム處デナクテハ、ククリトメラレズ。然ラバ陰德ニ依ラネバナラヌノデアル。此ノ故ニ媛トアリ。

伊弉諾尊聞而善之。乃散去矣。

悟リニ立チ歸リ玉フヨリ、陽明ノ悟リヲ御心トナサレ、善メ玉フノデアアル。○散去トハ、迷ヒノ心ノ消散スルヲ云フ。

但親見泉國此既不祥。

○サガトハ、悪シキ事ヲ云フ。伊弉諾尊、爰ニテ明カニ御悟

リアツテ迷ヒノ情ヨリ泉津國ヲ見ルハ宜シカラヌトノ事。

故欲濯除其穢惡乃往見粟門及速吸名門。

然此二門潮既太急故還向於橋之小門而

拂濯也。

右ノ通り悟リニ御基キアツテヂツト實理ヘ赴カセラレケレ
凡又事ニモ此ノ祓ヒヲ行ヒ玉ヒテ事理ヲ調ヘ玉ハントアリ
シ爰ハ前ノ異説デアル。

○粟ノミ門ハ阿波ノ鳴戸デアル。○速吸フ名門ハ古ヘヨ
リ詳カナラズトアリ豊後ノ國海邊ノ郡ニ在ルト云フ説モア
レ凡ソレハ上古ノ説ノ通り知レヌト云フ事ニテ宜シイ此ノ
二ツノミ門ハ潮甚ダ急ナルガ故ニ橋ノ小門ニ還リ玉ヒテ御

祓ヒナサレタノデアル。

又曰ク二ツノミ門潮既ニ太急トハ潮ノ早イト云フ事
早イトアレバ遅イハ自ラ備ハル受用ニ取リテ早イ處ニ居
ルト早ク成リ遅イ處ニ居ルト遅ク成ル程ニ心ヲツケテ中
体ヲ用フベキ事デアル橋ノ小門ハ即チ中体ノ場デアル以
上三ツノミ門ノ事別ケテ見テハ心得難シ爰ヲ云フガ神書
ノ文勢デ早イ處ヲ云フニ就イテ二ツノミ門ヲ書カレテサ
テ中体ハ小門ナリトアルノデアル然レバ其ノ程ノ宜イ處
ヲ云ハンタメニシテ畢竟潮ノ程宜イ處ヲ云ハントテ書カ
レ玉ヒシ文勢デアル。

于時入水吹生磐土命出水吹生大直日神。

又入吹生底土命出吹生大綾津日神又入吹生赤土命出吹生大地海原之諸神矣。不負於族

此云宇我
遷磨概章

○磐土命ハ、表筒男ノ御別名デアアル。○水ニ入りテトハ、水上ニテ濯ギ玉フ事依テ磐土命ト號ケ玉フ。是ニ於テ太陽ノ徳ニ歸リ玉ヒ、大イニ直フナラセ玉フ理リヲ以テ水ヲ出デテ大直日神ヲ吹キ生ストアリ。水ハ身ヲ濯ギ、身ハ心ヲ濯グ道理デアアル。

○又入りテ底土命ヲ吹キ生ストハ、又水中ニ入り、水底ニ沈ミ玉ヒテ濯ガセラルルヲ以テ、底土命ト號ケラレ玉フ。

○大綾津日神ハ、八十枉津日神ノ御別名デアアル。

○又入りテ赤土命ヲ吹キ生ストハ、赤土命ハ、中筒男命ノ御別名ナリト申ス。

○出デテ大地海原ノ諸ノ神タチヲ吹キ生ストハ、天地一休ノ悟リニ御立チ歸リナサレ、天地道体ノ一理ニ御基キ成サル處ヲ、斯クノ如ク御説キ成サレタノデ、即チ陽明ノ悟リノ處ニ御立チ歸リ成サル理リ、前ニ述ブルト同一デアアル。

一書曰。伊弉諾尊敕任三子曰。天照大神者可以御高天之原也。月夜見尊者可以配日而知天事也。素戔嗚尊者可以御滄海之原也。

此ノ一書ハ、保食ノ一書ト申シテ、別シテ深キ道理ヲ舉ゲラレ

(其十一)

テアル。爰ニ 伊弉諾尊御子達ニコトヨザシ玉ヒシ事ヲ舉ゲ
ラレテアルガ、大様前段ト同ジ趣キデアル。

○勅任トハ、ヨセマカスル意。天照太神ニハ帝位ヲ授ケラ
ルル程ニ、高天原ヲ治メ玉フ様ニトノ御事デアル。高天原ノ義
ハ、中臣、祓ニモ出ヅル通り、別傳ニナツテ居ル。一應ハ、天ノ蒼々
タル處ハ、高天原ニテ、太陽ノ日、神天地ニ留マリ玉ヒテ、天地萬
物ヲ生育シ玉フ其ノ如ク、上御一人ハ、天神ニ次デ萬人ノ上
ニ御立チナサレ、天下ヲ治メ玉フハ、御一人ノ御徳用ニテアレ
バ、其ノ一理ナルヲ以テ、御一人ノ御座所ヲバ、高天原トタタヘ
奉ルノデアアル。月夜見尊ハ、同ジク天上ニ御上ゲナサレテ、高天
原ニ坐マシテ、御政事ノ輔佐トナサレ玉フ。

○滄海原ハ、滄海デアアル。素戔嗚尊ハ、王化モ及ビ難キ邊土

遠境マデヲ御治メナサル様ニトノ御事デアアル。

又曰ク、此ノ段ハ、日神、月神ノ、天地ノ化育ノ功作ヲ説
カルルノデアアル。此ノ一書ニハ、本章ニ無キ處ガ多ク出テ居
ル。去ル程ニ、本章ト一書ト一貫キニ見ナクテハナラヌノデ
アル。古來一書ヲバ、註ノ様ニ見タ人ガアツタガ、ソレハ悪ル
イ見様デアアル。萬物出生之段ノ全体ヲククリタモノデ、萬物
出生之段ノ本行デ、山川、海陸、草木ガ出來テ、サテ爰デ、日神、
月神、素戔嗚尊ニ職掌ヲ御授ケ成サルルノデアアル。此ノ
段ニ蛭兒ヲ洩サレタハ、爰ハ全体功作ヲ説カルル故、蛭兒ニ
ハ功作ナク、此ノ故ニ洩サレタノデアアル。素戔嗚尊ハ、善ト
惡ト相マジツテ功作モ有ル故ニ、載セラレ玉ヒタノデアアル。
偕天地ハ何ニ依リテ立ツゾト云ヘバ、陰陽化育ノ功作デ立

ツ。故ニ三神ヲ舉ゲラレシ。天地ノ主宰ハ、日神デアル。高天原トハ、一應ハ、天ヲ指ス。又禁裏ヲ指シ、清淨ノ地ヲ指ス。天ニ就イテハ、日ハ天ノ主宰ニシテ、即日神デアル。人事ニ於テハ、天子ノ御事デアル。顯幽一ツニ説カルル書ナルガ故ニ、斯クノ如シ。コレガ本書ノ格デアル。然ラバ天ニ於テ、日ヨリ貴キハナク、人ニ於テ、天子ヨリ貴キハナシ。清淨ヲ云ハバ、天ト禁裏ヨリ清淨ナル處ハナシ。コレ一般ナル所以デア。ル。月夜見尊ハ、日ニ並ベテハ、月ハ、日ニ次グト云フ意。爰ガ物ニ類フ成リノ道理ニテ、尊キモノ一ツナラデ無キ事デア。ル。ナゼニツナイゾト云ヘバ、萬物ト雖凡、形チノ一理ハ只一ツデアアル。形チニ依レバ、二ツト云フモノニテ、二ツト云フモノニナレバ、天地、陰陽、男女ト相對イスルノデアアル。然レ凡天

ハ尊ク、地ハ卑シ。陽ハ尊ク、陰ハ卑シ。男ハ尊ク、女ハ卑シ。コレ尊キモノ一ツナラデ無キ所以デアアル。依テ天子ガ坐マスト、コレニ次グ臣ト云フモノナクテハナラズ。天ニ日ガ懸ラセラルルト、コレニ次グ處ノ月ガ懸ラセラレバナラズ。月神ハ、人臣ノ始メデアアル。▲天ノ事トアルハ、即チ天上ノ事デアアル。天地ハ陰陽ノ功作ニ依テ立ツ。人事モコレト同ジク、君臣ノ功作ニ依テ立ツノデアアル。素戔嗚尊ハ、御性リ陽ニ受ケ玉ヒテ、金氣ノ移サセラレタ神故、物ヲ損ヒ破ラセラルル事多シ。陰ニ受ケタル人ハ、金氣アツテモ、事ヲ破ラヌモノデアアル。爰ニ、素戔嗚尊ヲ滄海原ニ遣ハサルルト云フ意義チ、道理ニ就イテ説カバ、スベテ氣象ノ過激ナル人ハ、丹田ニ浸シテ味ヒテ事ヲナセバ、過グル事ナシ。コレ水氣ニ依ラネ

バナラヌトノ義デアル。受用ニ切ナル所。進ム處ノ人ハ、水氣ノ滄海原ニ基キ、陰質ニシテ不及ノ人ハ、ヒタト事ニ馴レテ動キナキガ、受用デアル。素戔鳴尊ヲ陰德ニヨラシメラルルガ。伊弉諾尊ノ御子ヲシテ教ヘテ成サルル處。深ク味フテ見ネバナラヌノデアル。人ノ父トシテ子ヲ教ユルモ、コレヲ學ババ可ナラン。コレマデガ、三子ニ命令ヲ成サルル處デアアル。

既而天照大神在於天上曰聞葦原中國有保食神。

上ニ、伊弉諾尊ヨリ、天照太神、月夜見尊、素戔鳴尊ニ、各其ノ天性ニ依リテ事ヲヨザシ玉フ、即チ勅命ノ事アリ。コレヨ

リシテハ、天照太神ノ未生ヲ説カセラルルノデアアル。未生、已生ノ義ハ、前ニ伊弉諾尊、伊弉冊尊ニ説カセラルレト、天照太神ニ未生ヲ説キ玉フ事ハ、此ノ一書ニ於テ初メテデアアル。去レト此ノ未生ノ事ハ、伊弉諾尊、伊弉冊尊、天照太神ノミニ限ルニアラズ、今日人々ノ皆我レニ有ル事デアアル。此ノ御文体「天照太神天上ニ在マシテ曰ハク『トアルハ、已生ノ天照太神ヲ説キ玉フヨリ、縁ヲ以テ、未生ノ天照太神ニ渡シテ、一理ノ初メヨリ、君臣ノ命令アル道理ヲ説カレ玉ヒ、ソレヨリ天地造化ノ功用ノ行ハルル道理ヲ、縁ヲ以テ説カセラレ玉フ御文体ニシテ、一通リニテハ、窺ヒ難キ幽玄ノ義デアアル。去ルニ依テ、爰ノ天照太神ハ、未生ニテ、道体一理ノ天神ヲ申スノデアアル。』

○保食神ハ、(ウケタモツ)意デアアル。コレハ、スベテ國土ニ萬物ヲ造化スル神靈ニテ、天ノ元氣ヲ地ニ受ケ持チテ、萬物ヲ生育スル事ヲ主ル神靈デアアル。即チ地ノ神靈デアアル。天地位シテ土ニ萬物ノ生ズル道理ヲ備ヘテモ、天神ノ本元ノ元氣ヲ地ニ受ケ持ツデナケレバ、萬物生育セズ。天ノ元氣ヲ地ニ受ケ保チテ萬物、生育スル道理ヲ保食ノ御名義ニ説キ玉ヒタノデアアル。又曰ク。保食神ハ、受ケ保ツト云フ事。儲天ニ元氣圓滿ノ神アリ。天ハ端ナク、一氣皆ミツル。コレ即チ元氣デアアル。天ニ此ノ圓滿ノ氣アレバ、地ニコレヲ受ケ保ツ神ナケレバナラズ。人モ元氣ニヨリテ立ツ。人ニ具ハル元氣ハ、形チニ受ケ保ツノデアアル。去ル程ニ此ノ元氣去ルト死ス。土地モ一氣デア支ヘ。人モ元氣ニヨリテ形チ立ツノデアアル。地ニ一靈感應ノ神

アリ。地上ニ物ノ出來ルハ、土ヨリ生エルケレバ、天ノ一氣ニヨリテ出來ルノデ、人ノ形チ元氣デア立チテ、功作ヲナスト同ジ。一氣ナケレバ、形チノ用ヲナス事ナシ。然ラバ土ハ形チノミカト云ヘバ、左右デナシ、地ニ彼ノ靈德ヲ受ケ保ツノ靈德ガアルノデアアル。人ニモ、形チニ元氣ヲ受ケ保ツノ靈德ガアルノデアアル。譬ヘバ知ラヌ人ノ處ニ見廻リト云ツテハ行カレズ。先ニ感ズルモノナキ故デアアル。地ニ感ズル處ノ靈アル故ニ、月、神ガ御使者ニ御越シナサルルノデアアル。ナゼ、月、神ト云フゾト云ヘバ、一氣ノ降ル處故云フ。四時皆一氣ジャケレバ、昇レバ陽ト云ヒ、降レバ陰ト云フ。共ニ一氣ナレバ、春夏ハ陽デア昇ル故、此ノ主宰ヲ日、神ト説ク。秋冬ハ、陽ノ昇リシ跡デアアル。秋冬ニハ降り閉ヅル故ニ、シヅマリテ形チヲナ

ス。日神ノ昇ラセラレタ跡デ殺氣ガ降ルカラ、ソレデ 天照太神ノ命令デ降ラセラルト説カレ玉ヒタノデアル。一氣ハ土ガ受ケ保ツ故地ハ一氣ニ支ヘラレテ立ツテ居ル。コレ保食神ハ土徳デアル。萬珠形チ有ルモノハ、受ケ保ツノ徳ニ依ラズト云フ事ナシ。保食神ハ、即チ土ノ靈デアル。月神ノ降り玉フハ、日神ノ命令、ヲ受ケテ降り玉フノデアル。

宜爾月夜見尊就候之。

天神ノ不言ノ言ト申シテ、天ノ元氣地ニ成ル處ハ、天神ノ言葉モ無ク、自然ト行ハル、其處チ、神明天ニ代リテ、斯クノ如ク御言葉ヲ下サレタノデアル。

○宜へ爾シ月夜見尊就イテ候ヨトハ、今日君タル御一人上ニ坐マシテ、下臣下ヲ召シ遣ヒ玉フ如ク、本天理ニ其ノ理アツ

テ、天神ノ斯クノ如ク命令アルノデアル。然レバ天理ニ於テ天照太神ハ君ト成リ玉ヒ、月夜見尊ハ臣下ト成リ玉フトアル事ガ、爰ニ明カニ見ユルノデアル。今日君ト成ラセ玉ヒ、臣ト成ル事、皆未生ニ於テ其ノ理備ハリテノ事ナレバ、君臣ノ道ハ、疎カニ思フテハナラヌノデアル。和漢ノ書ニ天命トアルハ、天帝ノ事ニテ、天ニ萬物ヲ主宰スル神明アツテ、コレヲ悉ク臣下ニ云ヒ付クレバ、其ノ臣下悉ク配リ行フ。畢竟上御一人ノ命ヲ受クル意デアル。月卿雲客ト云フモ、月夜見尊臣下ノ棟梁ニテアレバ、月ニ譬へ、雲客ハ、雲ニ喩フ。月卿雲客ト云フハ、和漢ノ通稱デアル。

月夜見尊受敕而降已到于保食神許。

此ノ月夜見尊モ未生デアル、月夜見尊臣下ニ降り玉フ處ノ、

未生ノ天ノ理リテ、今日ノ上ヘカケテ文ヲ下サレシ。保食神ハ、
 地ノ神靈デアアル。元氣ヲ受ケ保チテ、萬物ト成ス神デアアル。スベ
 テ人ト成リ、物ト成ルト云フハ、天氣地氣ニ感ジ、地氣コレニ應
 ジテ、陰陽合体シテ形チヲ成スノデアアル。其ノ感應ナサシメラ
 ルル所以ノモノハ、即チ一理ノ妙体デアアル。今日ヲ以テ申セバ、
 父ノ元氣ヲ母ニ受ケテ、子孫相續スル意デアアル。

明治三十九年十二月廿五日印刷
 明治四十年一月一日發行

正價金三拾五錢

講述者 吉川惟足

編者 宮澤圓隆

東京市下谷區竹町十二番地二號

印刷者 松村宗直

東京市淺草區諏訪町廿三番地

印刷所 富山印刷所

東京市日本橋區上槇町十五六番地



不許複製

著作權登錄

發行所

東京市下谷區竹町十二番地二號

立教護國會

